

1 . 平成 1 9 年度事業報告書

- 1 . 概況：重点活動状況
 - 2 . 会員の異動状況
 - 3 . 会議等に関する事項（総会，理事会，各種委員会）
 - 4 . 事業の状況：研究・調査、研究発表・学術講習会などの開催（定款 5 条 1 号）
 - 5 . 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款 5 条 2 号）
 - 6 . 事業の状況：標準化の推進、普及啓蒙（定款 5 条 3 号）
 - 7 . 事業の状況：情報技術関連の国際学協会への加盟、連絡・協力（定款 5 条 4 号）
 - 8 . 事業の状況：関連学協会との連絡、協力（定款 5 条 5 号）
 - 9 . 事業の状況：その他，目的を達成するために必要な事業（定款 5 条 6 号）
-
- 付 1 . 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）
 - 付 2 . 研究会および研究発表・学術講習会等一覧
 - 付 3 . 刊行物一覧
 - 付 4 . 国際会議一覧
 - 付 5 . 表彰等

1 . 平成 19 年度事業報告書

1 . 概況：重点活動状況

これまで「学術の焦点」と「実務の焦点」の2つの焦点を持つ学会運営を目指し、技術応用委員会を中心に実務家向けのコミュニティ作り（IT フォーラム）を展開してきた。平成 19 年度は、情報処理技術者のプロフェッションの確立を通じて、その社会的地位の向上を図るとともに、我が国において情報処理技術が魅力ある分野として認識されるために、新たに IT プロフェSSIONAL 委員会を設けた。両者の棲み分けは、技術応用委員会が IT フォーラムとその報告の場であるソフトウェアジャパン、IT プロフェSSIONAL 委員会が産業界との連携施策・社会提言・資格制度となる。

以上を踏まえて、19 年度の重点課題である、(1) 技術応用活動の活性化、(2) 創立 50 周年に向けた論文誌および研究会刊行物のオンライン出版の推進、(3) 教育活動の推進 について概況を報告する。

1.1 技術応用活動の活性化

- (1) IT フォーラム活動の活性化を目指して、会誌に「IT ダイバーシティフォーラム」の特集掲載等を行うとともに、コミュニケーションツールとして、学会ソーシャルネットワークサービス（SNS）の試行も実施したが、既存のコミュニティをベースとしていないこともあって、オンライン活動は未だに軌道に乗っていない。
- (2) 「高度 IT 人材育成フォーラム」が 10 月に開催したオフラインミーティングのシンポジウム「産官学の連携とその継続に必要なものは？」は参加者 300 人を数え、質疑も多数あり盛況であった。
- (3) 「バーチャルワールド」をテーマに開催したソフトウェアジャパン 2008 は、話題のテーマに参加者は 300 人の多数であった。技術応用委員会が日本発の優れたソフトウェア開発者に授与する「Software Japan Award」はダイバーシティと経営戦略の内永ゆか子氏と将棋を数理モデルとして表現した Bonanza の開発者保木邦仁氏が受賞した。

1.2 創立 50 周年に向けた論文誌および研究会刊行物のオンライン出版推進

本会創立 50 周年事業の一環として、論文誌および研究会の活動をオンライン化・ペーパーレス化することで得られるメリットを最大限追求し、価格の低減化を含む会員サービスの充実と社会への還元を目指して対応を推進している。本年度の対応状況は次の通りである。

- (1) 全論文誌の刊行体制の整備を実施した。その結果、オンライン英文論文誌「IPSJ Digital Courier (DC)」は、平成 20 年 4 月に、英文論文の基幹的論文誌としての役割を担う「Journal of Information Processing (JIP)」の再開として発展的に解消される。
- (2) 平成 20 年 4 月の論文誌のオンライン出版に向けた準備（ツールの開発、投稿案内整備、価格設定等）を行い、平成 19 年 10 月には論文誌の紙媒体の廃止を会員に周知した。
- (3) 平成 21 年度の研究会活動のオンライン化・ペーパーレス化に向け、一部研究発表会のペーパーレス開催を試行した。
- (4) 50 周年の平成 22 年度に向け、論文誌と研究会刊行物の全てを包括する低価格で購読可能な「総合デジタルライブラリ（仮称）」の検討を開始した。

1.3 教育活動の推進

- (1) 大学・大学院での専門教育向けの活動

情報専門学科におけるカリキュラム標準 J07：昨年度策定した大学での情報分野専門教育に対する知識

体系（知識項目とその達成度）表をもとに、経済産業省および文部科学省の協力のもと産学官協同での議論を行い、カリキュラム標準案を策定し、IEEE-CS と共同の検討会を開催した。

日本技術者教育認定機構（JABEE）：大学の専門教育の質的向上のための審査に加え、大学院教育の質的向上に向けて方策の検討を JABEE にて行った。さらに、国際協調体制の可能性として J-CAC WG を組織した。

CAC：Computing Accreditation Commission

(2) 初等・中等教育，大学一般向けの活動

高等学校普通教科「情報」について、必履修維持ならびに教科内容充実の要請書を提出し、シンポジウム等を通して現場の先生との連携の場を広げている。

情報分野に対する学生・生徒の興味をもたせる諸活動への支援の一環として若手奨励賞を新設し、国際情報オリンピックで優秀な成績を収めた 3 名の高校生を表彰した。

2. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数	前年度増減数	備考：19年度の異動				
	19年度末	18年度末			入会		退会		除名
名誉会員	40	39	1	-1	2	正会員から異動	1		
正会員	18,639	19,324	-685	-811	517 760	学生会員から異動	1,367 2	名誉会員に異動	593
学生会員	2,374	2,517	-143	196	1,215 1	準会員から異動	580 760	正会員に異動	19
準会員	43	49	-6	-3	8		10 1	学生会員に異動	3
個人会員 計	21,096	21,929	-833	-619	2,503		2,721		615
賛助会員 (口数)	291 (568)	295 (577)	-4 (-9)	-17 (105)	18 (20)		22 (29)		

* 入会には復会、再入会を含み、退会には死亡退会を含む。正会員には終身会員(204名)を含む。

3. 会議等に関する事項（総会，理事会，各種委員会）

付録 1 (p.14 ~ p.22) に掲載する。

4 . 事業の状況：研究・調査ならびに研究発表・学術講習会などの開催（定款5条1号）

4.1 調査研究活動 [所掌：調査研究運営委員会]

研究会（36）と研究グループ（3）が研究分野ごとに「コンピュータサイエンス領域」「情報環境領域」「フロンティア領域」「調査研究運営委員会」のいずれかに所属し、調査研究活動の活性化を図った。

各研究会等の詳細および研究発表会（153件）、シンポジウム（22件）の開催状況の詳細は、付録2（p.23～p.29）に掲載する。

(1) トランザクションの編集

5.3項に掲載する。

(2) 学生会員の取り込み

学生会員の研究会参加の促進と育成を目的に、平成17年度から学生の1研究会登録費の無料化を継続している。（研究会登録学生会員数は9.4項を参照）。

(3) 研究会活動のオンライン化への取り組み

刊行物オンライン化委員会の検討推進のもと、平成21年度の研究会活動の全面オンライン化に向けた対応として、ペーパーレス研究発表会の一部試行を行うとともに、研究報告・シンポジウム論文の電子投稿受付システムの開発を開始した。

(4) 諸活動との連携・協力

会誌へ各研究会の活動を紹介するコラムを掲載した。また、領域委員会を通じて委員の派遣やプログラム編成等、全国大会への協力を引き続き行った。

4.2 教育活動 [所掌：情報処理教育委員会]

(1) 大学・大学院での専門教育向けの活動

昨年度策定した大学での情報分野専門教育に対する知識体系（知識項目とその達成度）表をもとに、産学官協同での議論を行ってコンセンサスを得つつ具体的なカリキュラム標準案を策定し、それをもとにIEEE-CSと共同の検討会を開催した。平成19年度文部科学省「先導的大学改革推進委託事業」の支援を受けて今年度末にカリキュラム標準「J07」を完成した。

日本技術者教育認定機構（JABEE）の諸活動を通して、大学での専門教育の質的向上を推進した。具体的には、JABEEからの業務委託にあたる審査に加え、審査員の養成を進めている。また、大学院教育の質的向上に向けて、認定の実施も含めた方策の検討をJABEEが進めているが、それに積極的に協力している。さらに、国際協調体制の可能性を探り始めている。

(2) 社会人向けの活動

CPD、資格・試験制度、技術士制度などについては、今年度から設置されたITプロフェッショナル委員会において検討が進められている。

CPD：Continuing Professional Development、PDE：Professional Development of Engineers

(3) 初等・中等教育、大学一般向けの活動

高等学校の教科「情報」に関して、内容の検討、教科書施策を継続して行うとともに、シンポジウム等を通して現場の先生との連携の場を広げている。その一環として、教員の知識と技能のチェックリストを作成し公表した。また、小学校・中学校での教育の情報化と情報教育について各種の試行・支援を

続けている。

初等・中等教育での状況も踏まえて、大学での新しい姿の一般情報教育を推進すべく教科書など教材の整備・提供に努めるとともに、一般情報処理教育の知識体系（GEBOOK）の検討を開始した。

各種のコンテストの後援などを継続して行うとともに、情報分野に対する学生・生徒の興味をもたせる諸活動への支援を行っている。その一環として若手奨励賞を新設した。

4.3 事業活動 [所掌：事業推進委員会]

各開催状況の詳細は付録2（p.30～p.31）に掲載する。

(1) 全国大会

第70回全国大会を平成20年3月13日～15日に筑波大学において開催した。本大会では、招待講演、特別セッション、シンポジウムなどのイベントを企画開催するとともに、仮想世界「セカンドライフ」にバーチャル会場を設けて招待講演配信やペットコンテストを行った（アクセス件数：1,595件）。また、通例の一般セッション、学生セッション、デモセッションを行った。講演申込件数は1,535件（一般セッション408件、学生セッション1,120件、デモセッション7件（前年度講演数：1,179件））の申込みを得ることができた。総参加者数は2,877名であった。

また、本大会とは別に、日本を代表するITに関するナショナルプロジェクトを紹介する第70回全国大会サテライトイベント「ワクワクIT@あきば2008」を秋葉原コンベンションホールで本大会開催に先駆けて3月12日～13日に開催した。総参加者数は1,296名であった。

(2) FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム

FIT2007（第6回情報科学技術フォーラム）を平成19年9月5日～7日に中京大学豊田キャンパスにおいて開催した。査読付き論文は351件の投稿があり、うち137件が採録され、採録となった論文のみを集めた情報技術レターズ（Information Technology Letters）に掲載された。またイベント企画は、(1)研究会提案型12件、(2)現地提案型5件、(3)本委員会提案型2件の3本柱で構成し、それぞれ趣向をこらしたイベントが開催された。講演件数は853件、総参加者数は1,806名であった。

(3) 連続セミナー

「情報セキュリティ 2.0 - 自由と統制の時代の情報セキュリティ -」を全体テーマとし、年度内に、第1回「進化するマルウェアとセキュリティ」、第2回「ビジネスと生活を結ぶセキュリティ」、第3回「J-SOX時代のデジタル・フォレンジック」、第4回「その後の個人情報保護」、第5回「バイオメトリクスの現状と今後」、第6回「次世代暗号技術への移行に向けた課題と対応」の全6回にわたって開催、153名の参加があり盛況であった。

(4) 短期集中セミナー

主に産業界向けに、時事性が高く社会的関心度の高いテーマを取り上げ、次を企画開催した。

「インターネット放送の現在と展望」 参加数：58名

(5) プログラミング・シンポジウム

年度内に3回のシンポジウムを開催した。

5. 事業の状況：会誌および学術図書の刊行（定款5条2号）

各発刊状況の詳細は付録3（p.32～p.33）に掲載する。

5.1 会誌「情報処理」(月刊) [所掌：会誌編集委員会]

(1) 会誌の編集

8月を除く毎月1回編集委員会を開催し、会誌「情報処理」第48巻4号から第49巻3号まで計12号(本文1,480ページ、広告67ページ、平均発行部数21,658部/号)を編集発行した。

川合慧編集長のもと、記事の構成およびレイアウトを工夫し、役立つ会誌、読みやすい会誌の編集を心がけた。

新たに「仮想マシン道しるべ」の連載を開始した。また、通巻500号から512号までの1年にわたり「これからの情報処理学会」を企画し、各理事に執筆していただいた。さらに今年度からの新企画として論文賞受賞者に受賞論文紹介を執筆していただく「平成18年度論文賞の受賞論文紹介」を掲載して好評を得た。

(2) 広告の状況

IPSJメールニュース、パナー広告、Webの人材募集広告ともに掲載がとぎれることなく順調に進んでいる。

1月号から開始したカタログ同封サービスも順調に進んでいる。

新たに今年度から開始した学生向けの「就職情報」については予定を上回る掲載数となった。

(3) オンデマンド印刷サービス

会誌のオンデマンド印刷サービス事業(BookPark)を引き続き行った。BookParkでの売り上げの多くは非会員であり、順調に機能している。

5.2 「情報処理学会論文誌(ジャーナル)」(月刊) [所掌：論文誌編集委員会]

(1) 「情報処理学会論文誌(ジャーナル)」の編集

8月を除く毎月1回定例の編集委員会を開催し、「情報処理学会論文誌(ジャーナル)」第48巻4号から第49巻3号まで計12号(論文339編、テクニカルノート13編、本文4,004ページ、平均発行部数4,975部/号)を編集発行した。

(2) 英文オンラインジャーナル「IPSJ Digital Courier (DC)」の刊行体制の維持

平成17年度より刊行された「IPSJ Digital Courier (DC)」の刊行体制を維持し、76編を掲載した。

(3) 情報関係学会英文論文合同アーカイブズ(IMT)の刊行体制の維持

平成18年度より刊行しているIMTの編集運営会議幹事学会として、その安定した編集と定期的な刊行を支援し、100編を掲載した。

IMT: Information and Media Technologies

現在、7学会(映像情報メディア学会、言語処理学会、人工知能学会、日本ソフトウェア科学会、ヒューマンインタフェース学会、日本データベース学会、および本会)が参加している。

(4) 論文査読管理システム(PRMS)の運用

著者と査読者へのサービス向上のため、紙による査読から、PRMSを利用したオンライン査読に本格的に移行した。運用は順調であり、さらに査読者からの意見を聞きながら改良を加えている。

PRMS: Paper Review Management System

(5) 特集号企画の充実

産学連携、国際会議連携、研究会連携などの特集号を昨年度に増して企画し、充実した論文誌の出版に成功した。PRMSを利用した特集号査読体制も定着し次年度の完全オンライン化に備えることができた。

5.3 「情報処理学会論文誌（トランザクション）」 [所掌：調査研究運営委員会]

研究会が編集した「情報処理学会論文誌（トランザクション）」6誌を年度内に計20号発行した。

5.4 論文誌編集出版に関する新体制に向けた運営の推進 [所掌：学会論文誌運営委員会]

論文誌（ジャーナル，各トランザクション，IPSJ Digital Courier）全体の編集運営を推進するため，新設された学会論文誌運営委員会のもとで，オンライン出版に向けた学会方針に基づく諸規程ならびに各誌の刊行体制等を整備した。

また，「IPSJ Digital Courier（DC）」を発展的に継承する英文オンラインジャーナルとして，平成5年度より休刊状態であった「Journal of Information Processing（JIP）」の刊行を平成20年4月から再開することを決定した。

5.5 論文誌および研究会活動のオンライン化 [所掌：刊行物オンライン化委員会]

平成22年の本会創立50周年に向けて，論文誌および研究会の活動を段階的にオンライン化・ペーパーレス化し，価格の低減化ばかりではなく，オンライン化することで得られるメリットを最大限追求することを目指して対応を推進している。

本年度は，特に，平成20年4月の全論文誌のオンライン出版に向けた対応を推進し，平成19年10月には，平成20年4月以降の論文誌のオンライン出版の全容と紙媒体による刊行の廃止を会員に周知した。また，研究発表会のペーパーレス開催の一部試行を行うとともに，オンライン出版サイトの全面移行も視野に入れた検討を行った。

平成20年度には，研究会活動（研究発表会・シンポジウム等）のオンライン化・ペーパーレス化を推進し，平成21年度末までに一部の共催行事を除き研究会活動を全面オンライン化させ，平成22年度には，論文誌と研究会刊行物の全てを包括する低価格で購読可能な「総合デジタルライブラリ（仮称）」の実現を目指す。

5.6 学術図書 [所掌：出版委員会]

(1) 英文図書

“Advanced Information Technology”シリーズの編集を進め，新タイトル「Broadband Internet Deployment in Japan」を編集している。

(2) IT Text シリーズ

“IT Text”シリーズの編集を進め，新たに「自然言語処理」「人画像処理」「Java 基本プログラミング」の3冊を刊行した。

5.7 歴史関連活動 [所掌：歴史特別委員会]

(1) 歴史資料の収集・整理・保管

実博物館実現に向けて調査を開始した。

(2) 「コンピュータ博物館」の充実

平成19年8月にOSを公開した。また，2000年までのUNIXサーバ，PCサーバを追加するため作

業を開始し、平成 20 年 5 月末に公開する予定である。

日本語版および英語版の CMS 化を行った。

平成 19 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を受けた。

(3) オーラルヒストリー

8 名の方のインタビューを行い、現在編集中である。

(4) 単行本「日本のコンピュータの歴史（1981-2000 年版）」の編集

第 3 冊目となる「日本のコンピュータの歴史（1981-2000 年版）」の発行に向けて作業を行っている。

(5) 卓越技術データベースの公開

科研費の支援を受け、電気電子・情報関連 5 学会と国立情報学研究所（NII）が共同で作成した「日本の電気電子・情報関連卓抜技術データベース」が、平成 19 年 11 月に一般公開された。

(6) 全国大会セッション企画

「私の詩と真実」と題した全国大会のセッションを企画した。

5.8 著作権 [所掌：著作権委員会]

電子情報通信学会と共催会議の著作権問題について協議を行い、新たな共催の方式を探るべく議論を開始した。

また、最高裁判所からの「知的財産権訴訟に関する専門委員」の推薦依頼について、専門委員 17 名を最高裁に推薦した。

6. 事業の状況：標準化の推進ならびに普及啓蒙（定款 5 条 3 号）

6.1 JTC1 の主なトピックス [所掌：情報規格調査会]

(1) スタディ・グループ（SG）の設置

以下の 2 つの SG の設置を決定した。

ICT ガバナンス・SG センサー・ネットワーク SG

(2) Direct Participation に関する検討

JTC 1 の技術作業に（国の代表だけでなく）全ての利害関係者の参加を許す Direct Participation が提案され、アドホックグループの設置が投票にかけられることになった。

(3) JTC1 関連のその他の事項（事務局）

1) SC34 幹事国

カナダが SC 34 の幹事国と議長を降りることになり、日本と韓国が後任の幹事国と議長に立候補した。

JTC 1 総会で幹事国を日本が務めることが承認され、また、議長を韓国が務めることとなった。

2) SWG on Accessibility の成果

日本からの強い働きかけで 3 つのテクニカルレポート（障害者のニーズを集め、整理したものなど）に纏められ、PDTR（TR の委員会原案）が承認された。

6.2 日本の活動状況 [所掌：情報規格調査会]

(1) 日本提案による国際標準化の推進

日本が 2007 年度提案して承認された新業務作業項目 (NP) : 2 件

- ・ Quality test specification for rewritable hybrid media data carriers (SC 31)
- ・ User Interfaces -- Accessibility functions for personal computers (SC 35)

日本が 2007 年度提案して投票中の新業務作業項目 (NP) : 1 件

- ・ Guidelines for using data structures in AIDC media

日本が 2007 年度以降に提案予定の新業務作業項目 (NP) : 3 件

日本が 2007 年度提案して承認された Fast-track DIS : 1 件

- ・ Office equipment accessibility guidelines for elderly persons and persons with disabilities (JIS X 8341-5, SC 28)

2007 年度に IS が発行された日本提案の規格 : 4 件

(2) 国際会議への参加

全部で 249 回の会議が開催され、日本からは 208 回の会議に 967 名が参加した。

(3) 国際役職引受け

議長 : 4 名 コンビーナ : 12 名 ラポータ : 4 名 SC セクレタリアート : 5 名 WG セクレタリアート : 4 名 プロジェクトエディタ : 203 プロジェクトで 101 名

(4) 国内委員会の開催状況

事業執行関連 : 27 回, 技術活動関連 : 517 回

(5) 国内委員会への参加

国内委員会への参加者数 : 延 1,435 名, 委員 : 1,118 名, エキスパート/オブザーバ : 289 名, リエゾン : 19 名, メールメンバ : 9 名

6.3 その他

(1) 広報活動

「情報技術標準 Newsletter」 : 季刊誌 (年 4 回) および別冊 (年 1 回) を発行した。

情報技術標準化フォーラムの開催 : 「近距離通信(NFC)規格の国際標準化動向」

プレスリリース : 「JIS X 0221 国際符号化文字集合 (UCS) の改正」

(2) 表彰

付録 5 (p.37) 参照

7. 事業の状況 : 情報技術関連の国際学協会への加盟ならびに連絡・協力 (定款 5 条 4 号)

7.1 国際活動 [所掌：国際業務委員会, IFIP 委員会]

国際会議の開催状況は付録 4 (p.34) に掲載する。

(1) IEEE-Computer Society (IEEE-CS) との連携・協力

IEEE-CS と本会が founder (毎年共催, 第 8 回目) の国際会議「The 2008 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2008)」を 2008 年 8 月にフィンランドで開催予定である。

第 70 回全国大会において IEEE-CS 会長 Rangachar Kasturi 氏の招待講演が行われた。

(2) アジア地域学協会との連携・協力

The Korean Institute of Information Scientists and Engineers (KIISE) との連携・協力

KIISE national convention (2007 年 10 月 26 日～27 日, 釜山国際大学) において, 土井副会長が招待講演を行った。

South East Asia Regional Computer Confederation (SEARCC) への対応

アジア太平洋地域における情報処理の振興を目指した SEARCC の趣旨に賛同し, 1999 年以来正式メンバーとして活動してきたが, 2001 年 11 月のニュージーランド大会で SEARCC と AIC (Asia ICT Confederation) に分裂して以来, 予算の扱いや事業運営など基幹部分で混乱が続いている。会員の間にも共通する明確な目標が欠如した状態が続いていると判断されたことから, 2 年前の理事会で本会としては解散動議を提案したが, その扱いにも混乱した状態が続いている。このため, 本会は SEARCC を退会し, 当面は IFIP の一員としてアジア太平洋地域における情報処理の振興に貢献することとした。

(3) International Federation for Information Processing (IFIP) の活動状況

IFIP GA2007 は 8 月下旬に開催されたが, 開催場所のエチオピアは日本の外務省が旅行注意区域としていたため日本からの出席は取りやめた。

11 月に IFIP 委員会を開催し, GA2007 の報告ならびに各 TC 日本代表からの年間活動報告を行った。

本会における IFIP 活動の広報強化として, IFIP 関連の国際会議を IPSJ メールニュースへ積極的に送信した。また, 会誌 2 月号に IFIP の近況報告の記事を掲載した。

(4) 危険地域における活動対応

学会は危険地域での活動は原則として行わないよう, 関連規程を改訂整備した。

8 . 事業の状況 : 関連学協会との連絡および協力 (定款 5 条 5 号)

8 . 1 関連学協会・日本学術会議

(1) 電気・情報関連学会連絡協議会への参加

電気・情報関連学会連絡協議会に参加し, 各学会の共通の問題について意見交換を行った。

(2) 日本工学会への参加

日本工学会に参加し, 関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

(3) 研究発表・学術講習会等の共催

電子情報通信学会 (情報・システムソサエティほか) との共催による「情報科学技術フォーラム (FIT) (前 4.3 項参照)」他, 研究発表会および学術講習会において関連学協会等と適宜共催を行った。

(4) 日本学術会議への協力

日本学術会議協力学術研究団体として日本学術会議の活動に協力した。また, 平成 20 年 1 月に, 日本学術会議代表者と電気・情報関連学会役員との連絡会を設け, 意見交換を行った。

8 . 2 会議の協賛後援等

(1) 国内会議の協賛・後援等

「ロボット工学セミナー第 41 回シンポジウム」(日本ロボット学会主催, 平成 19 年 9 月 19 日) ほか

121 件の協賛・後援等を行った。

(2) 国際会議の協賛・後援等

「第 22 回生体・生理工学シンポジウム」（計測自動制御学会主催，平成 20 年 1 月 13 日～14 日）ほか 17 件の協賛・後援等を行った。

9 . 事業の状況：その他，目的を達成するために必要な事業（定款 5 条 6 号）

9 . 1 創立 50 周年記念事業の準備準備 [所掌：創立 50 周年記念事業実行委員会]

創立 50 周年（平成 22 年度）に向けて，記念事業実行委員会ならびに各事業の実働委員会を設置し，記念事業の基本方針，事業内容・規模，推進組織および運営方法等の概要を策定した。

創立 50 周年記念事業の詳細は「平成 20 年度事業計画 9.1 項（p.88～p.89）」を参照。

9 . 2 IT プロフェッショナルの地位向上のための取組み [所掌：IT プロフェッショナル委員会]

情報処理技術者のプロフェッションの確立を通じて，その社会的地位の向上を図るとともに，わが国において情報処理技術が魅力ある分野として認識されるように，産学官との連携を含めた諸施策の検討を開始した。

上記検討に基づき，次の項目に対するパブリックコメントを提出した。

- ・経済産業省「高度 IT 人材の育成をめざして（報告書案）」
- ・IT 戦略会議「重点計画 2007（案）」
- ・情報処理推進機構（IPA）「情報処理技術者試験新試験制度の手引（案） -新試験制度審議委員会中間報告書-」

次のシンポジウムの企画立案・協賛を行った。

- ・平成 19 年度日本学術会議情報学委員会および情報処理学会共催講演会「情報処理で社会を守る」
- ・高度 IT 人材育成フォーラム「産官学の連携とその継続に必要なものは？」

9 . 3 技術応用活動 [所掌：技術応用運営委員会]

(1) IT フォーラムの本格的な活動の活性化

今年度は，「IT アーキテクト・CIO」「サービスサイエンス」「ユーザスタディ」「Web2.0」「イノベティブ社会基盤」「福祉情報システム」「IT ダイバーシティ」「高度 IT 人材育成フォーラム」の 8 つのフォーラムが，Web サイト上での意見交換，「ソフトウェアジャパン 2008」への参画，その他独自のイベント等の開催によりそれぞれの活動を推進した。また，会誌 5 月号に「IT フォーラムへの誘い」を掲載し，各フォーラムの紹介を行った。

- ・「IT ダイバーシティフォーラム」では，会誌 12 月号にの特集を掲載した。
- ・「高度 IT 人材育成フォーラム」では，10 月にイベントを開催した。

(2) 学会ソーシャルネットワークサービス（SNS）の試行

実務家を中心とするコミュニティ「IT フォーラム」のコミュニケーションツールの一つとして SNS を試行してきたが，既存のフォーラムは既に独自のコミュニケーションツールを有しており，現時点では SNS の利用者が殆どいないことから SNS の利用は一旦中止することとした。

引き続き、各フォーラムの活発化・育成のために、どのような情報の伝達・共有・コミュニケーション方法が有効かの調査検討を行い対応に努めていく。

(3) 「ソフトウェアジャパン 2008」の開催

「ソフトウェアジャパン 2008」（平成 20 年 1 月 29 日、東京ステーションコンファレンス）を企画開催し、産業界とのコラボレーションを推進した。参加者数は 342 名であった。また、技術応用委員会が日本発の優れたソフトウェア開発者に授与する「Software Japan Award」を、ダイバーシティと経営戦略の内永ゆか子氏と、将棋を数理モデルとして表現した Bonanza の開発者保木邦仁氏に贈呈した。

9.4 入会促進・広報活動

(1) 学生会員の獲得と育成

引き続き、学生会員育成委員会のもとで、研究会と支部が協力し、新規学生会員の獲得と 1 研究会への無料登録を推進した。学生会員数および研究会登録数とも順調である。

学生会員数（ ）内：そのうちの研究会登録数

17 年度末：2,321 名（895 名）、18 年度末：2,517 名（1,243 名）、19 年度末：2,374 名（1,251 名）
学生会員をエンカレッジするため船井情報科学振興財団の協力で平成 17 年度から設けられた「IPJSJ Digital Courier 船井若手奨励賞」に受賞候補者 22 名を推薦した。

(2) 実務家の取り込み

技術応用活動（前 9.3 項）やセミナー（前 4.3 項）等により実務家の取り込みに向けた活動を推進した。

(3) 新たな賛助会員の取り込み

技術応用活動や IT プロフェッショナルに向けた取組みと連携し、新たな賛助会員の取り込みに努めた。

(4) その他

各種行事等の場における入会促進、電子メールによる学会紹介、IPJSJ メールニュースの充実等の広報活動、ホテル・レンタカー等会員優待サービスの充実に努めた。また、情報関連展示会の場において本会の活動を紹介した。

9.5 運営の充実改善等に関する事項

(1) 喜安記念業績賞の設置

名誉会員 故 喜安善市 氏のご遺族から寄贈いただいた資金により積立資産を設け、現行の業績賞を「喜安記念業績賞」と改め、平成 19 年度受賞者から受賞内容を適用することとした。

(2) 公益法人改革への対応

平成 20 年 12 月の公益法人制度改革関連 3 法の施行に当り、本会は「公益社団法人」に移行するよう諸対応を進めている。

懸案事項の一つであった本会の代表会員制度の扱いについては、同様の問題を抱える他の学協会とともに日本工学会から制度容認の要望を提出した。その後、平成 20 年 3 月に政府公益認定等委員会の Web サイトで公開された「公益認定等ガイドライン（案）」および「新しい公益法人制度に係る質問への回答」から判断する限りでは、代表会員制度の扱いも概ね現行通りで対応可能と思われる。懸案事項以外は定款の見直しもほぼ終了した。今後は、公益認定基準を満たすために必要な組織ならびに財務設計の詳細対応を進めていく。

(3) 電子化の推進

学会マネジメントシステムの会員認証/プロフィール更新機能についてセキュリティコンサルタントによる調査を実施し、次年度の本格運用に備えた。

ジャーナルの論文査読管理支援システム（PRMS）の本格運用と機能改良を行った。また、トランザクションの査読管理システムは仕様を検討している。

研究報告、シンポジウム論文の電子投稿受付システムの開発を推進した。

9.6 支部活動

支部長会議を平成 19 年 7 月 25 日に開催し、本部支部間の意見交換の一層の充実を図るため、支部長会議の在り方を見直した。今後は、支部総会への本部役員の出席（4～5 月）、FIT と併催の支部長会議（9 月）、12 月役員検討会に支部長の出席を得て意見交換の充実を図る。

(1) 北海道支部（支部長：鈴木恵二）

支部総会（4 月 2 日、於テクノフェイス、出席者 51 名（委任状 38 名を含む））

情報処理北海道シンポジウム 2007（9 月 19 日、於北海道大学、参加者 117 名）

幹事会（1 回）、評議員会（2 回）ほか

支部研究奨励賞、同学術研究賞、同技術研究賞、同技術開発賞、同優秀ポスター賞、支部長賞表彰

(2) 東北支部（支部長：牧野正三）

支部総会（5 月 9 日、於東北大学、出席者 179 名（委任状 153 名を含む））

電気関係学会東北支部連合大会（8 月 23 日～24 日、於弘前大学、一般講演 356 件、延参加者 600 名）

講演会（3 回）、研究会（6 回）

役員会（1 回）、幹事会（1 回）

支部奨励賞、支部学生奨励賞、支部野口研究奨励賞表彰

(3) 東海支部（支部長：長谷川全司）

支部総会（5 月 10 日、於愛知厚生年金会館、出席者 267 名（委任状 236 名を含む））

電気関係学会東海支部連合大会（9 月 27 日～28 日、於信州大学、一般講演 479 名、オーラルセッション 404 件ほか、大会参加者 955 名）

講演会（7 回）、研究会他（6 回）、学生研究発表会支援

評議員会（2 回）、幹事会（5 回）

学生論文奨励賞表彰

(4) 北陸支部（支部長：広瀬貞樹）

支部総会（5 月 11 日、於富山大学、出席者 114 名（委任状 97 名を含む））

電気関係学会北陸支部連合大会（9 月 8 日～9 日、於福井工業大学、参加者 859 名、講演 348 件）

講演会（8 回）、見学会（1 回）、学生研究発表会

幹事会・評議員会（4 回）

支部優秀論文発表表彰、支部優秀学生表彰

(5) 関西支部（支部長：田中克己）

支部総会（5 月 22 日、於大阪大学中之島センター、出席者 286 名（委任状 241 名を含む））

支部大会（10 月 29 日、於大阪大学中之島センター、参加者 176 名、論文発表 53 名、特別講師 6 名）

ビジュアルインフォメーション研究会（4 回）、環境知能研究会（2 回）、VLSI システム研究会（3 回）、セミナー（1 回）、講演会（2 回）、シンポジウム支援（4 件）

評議員会・幹事会合同会議（1 回）、幹事会（5 回）

学生奨励賞表彰

(6) 中国支部（支部長：田中章司郎）

支部総会（5月11日，於広島大学，出席者155名（委任状112名を含む））

電気・情報関連学会中国支部連合大会（10月20日，於 広島大学）

講演会（13回），講習会（1回），研究会・シンポジウム（9回）

評議員会（3回），幹事会（3回）

中国地区電気・情報関連学科優秀論文発表賞，奨励賞表彰

(7) 四国支部（支部長：北 研二）

支部総会（5月11日，於 徳島大学，出席者75名（委任状出席57名を含む））

電気関係学会四国支部連合大会（9月29日，於徳島大学）

講演会等（2回），研究会（3回）

役員会（4回）

支部奨励賞表彰

(8) 九州支部（支部長：尾家祐二）

支部総会（5月11日，於九州大学，出席者253名（委任状232名を含む））

電気関係学会九州支部連合大会（9月18日～19日，於琉球大学）

若手の会セミナー（9月3日～4日，於国民宿舎波戸岬），火の国情報シンポジウム2008（平成20年3月6日～7日，於 長崎大），講演会等（13回）

幹事会（3回），評議員会（1回）

支部奨励賞表彰

9.7 表彰等 付録5（p.35～p.38）参照

9.8 その他

事務局職員の年度末在籍者は24名（本部15名，規格9名）である。

以上

付1. 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）

総会

[第50回通常総会の構成（定款上の民法上の社員）]

役員24名、代表会員127名

総会成立定数：76名

*会議の結果はいずれも全会一致

開催年月日	議事事項	会議結果
第50回通常総会 平成19年5月30日 議長：旭 寛治（副会長： （安西会長代理）） 出席：122名（内委任状68）	1. 平成18年度事業報告について 2. 平成18年度決算報告について 3. 平成19年度事業計画について 4. 平成19年度予算について 5. 会費滞納会員の取扱いについて 6. 名誉会員について 7. 平成19年度役員改選について 8. 表彰（功績賞，論文賞，業績賞，長尾真記念特別賞）	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 ---

理事会

[第526回までの構成（理事22名）]

会 長：安西祐一郎

副 会 長：旭 寛治、中島秀之

先任理事：青山幹雄、阿草清滋、石田 亨、富田悦次、萩原兼一、橋田浩一、平川秀樹、平田圭二、前田 章

後任理事：今井 浩、岡本栄司、勝山光太郎、坂井修一、玉置政一、中島 浩、長谷川亨、松井くにお、村山優子、安信千津子

監 事：水野忠則、調 重俊

[第527回以降の構成（理事22名）]

会 長：佐々木元

副 会 長：中島秀之、土井美和子

先任理事：今井 浩、岡本栄司、勝山光太郎、坂井修一、玉置政一、中島 浩、長谷川亨、松井くにお、村山優子、安信千津子

後任理事：後藤厚宏、柴山悦哉、田中二郎、徳田英幸、西田豊明、福田 晃、星 徹、松原 仁、吉野松樹

監 事：調 重俊、板倉征男

理事会成立定数：15名

*会議の結果はいずれも全会一致

開催年月日	議事事項	会議の結果
第525回理事会 平成19年4月24日 議長：安西祐一郎（会長） 出席理事：22名（内委任状3名）	[承認事項] 1. 平成18年度会員数（3/31現在）/平成19年度会員数（4/17現在）（総務） 2. 平成19年度終身会員（総務） 3. 第50回通常総会関係（総務・財務） 4. 平成19年度理事担務（会長・副会長） 5. 功績賞選定手続きの一部改訂（総務） 6. シンポジウム等の終了報告（調査研究） 7. 情報オリンピック日本委員会理事候補者の推薦（教育） 8. 情報処理教育委員会規程改訂（教育） 9. 教科「情報」の必修修維持・内容充実に関する提言（社会提言WG） 10. 国内会議の協賛・後援等依頼（事業） 11. 国際会議の協賛・後援等依頼（国際） 12. ICMU2008国際会議開催申請書（国際） 13. UCS2007国際会議開催申請書（国際） 14. 情報規格調査会委員の変更 15. 情報規格調査会規程実施細則の変更 [審議事項] 1. 英文オンラインジャーナルの名称（論文誌改革WG） 2. ITプロフェッショナル委員会の設置（旭副会長） [各委員会等からの報告（略）]	承認 承認 一部修正再提案 承認 再提案 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第526回理事会 平成19年5月30日 議長：旭 寛治（副会長： （安西会長代理）） 出席理事：22名（内委任状4名）	[承認事項] 1. 平成19年度会員数（5/23現在）（総務） 2. 第50回通常総会関係 付：総会資料・監査報告書 3. 功績賞選定手続きの一部改訂（総務） 4. 倫理委員会規程の設置（総務） 5. ITプロフェッショナル委員会規程の設置（総務）	承認 承認 承認 承認 承認

	<p>[審議事項] (該当無し) [各委員会からの報告(略)]</p>	
<p>第530回理事会 平成19年10月26日</p> <p>議長：佐々木 元(会長) 出席：22名(内委任状3名)</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成19年度会員数の状況(10/19現在)(総務) 平成19年9月本部収支状況/全会計四半期状況(財務) 創立50周年記念事業実行委員会の設置(記念事業準備委員会) 電子情報通信学会との著作権に関する覚書(著作権) 卓越技術DB著作権に関する覚書(案)(歴史) 編集規程の改訂(論文誌) 研究会登録費の算定方法(調査研究) シンポジウム等の開催願い/終了報告(調査研究) 若手奨励賞の設立(調査研究/教育) 国内会議の協賛・後援等依頼(事業) 国際会議の協賛・後援等依頼(国際) IFIP委員会規程改訂：危険地域での活動(国際) MDM2006国際会議終了報告書(国際) IWSEC2008国際会議開催申請書(国際) <p>[審議事項] 1.平成20年度事業の全体方針・予算編成方針(総務・財務) [各委員会からの報告(略)]</p>	<p>承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>
<p>第531回理事会 平成19年11月26日</p> <p>議長：佐々木 元(会長) 出席：22名(内委任状4名)</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成19年度会員数の状況(11/19現在)(総務) 平成19年10月本部収支状況(財務) 平成20年度事業計画概要 付：19年度進捗状況(総務) 平成20年度理事会推薦役員候補者(総務) 受入補助金等の監査に関する規程の制定(総務) 論文誌購読に関する規程等の改訂(総務) 事務局賃金規則の改訂(総務) 「専門委員」推薦候補者リスト(著作権委員会) 平成20年度研究会登録費の改定(調査研究) シンポジウム等の開催願い/終了報告(調査研究) 国内会議の協賛・後援等依頼(事業) <p>[審議事項] (該当無し) [各委員会からの報告(略)]</p>	<p>承認 承認 次回詳細提案 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>
<p>12月役員検討会 平成19年12月20日</p> <p>議長：佐々木 元(会長) 出席：役員および支部長</p>	<p>[集中検討テーマ]</p> <ol style="list-style-type: none"> 公益法人改革関連 制度改革の概要説明、本会对応状況説明、今後のスケジュール確認 支部長会議に関する話題 「支部の賞の扱い」「産学連携の在り方」「情報系の学会連合」に関する意見交換 「実務の焦点」に向けた活動の在り方 「本会の資格制度の在り方」「アドバイザーボードの方向性」に関する意見交換 	<p>----- ----- -----</p>
<p>第532回理事会 平成20年1月28日</p> <p>議長：佐々木 元(会長) 出席：22名(内委任状2名)</p>	<p>[承認事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 50周年記念事業関係(50周年実行委員会) (1)追加記念事業：「羽生に勝とう(仮称)」プロジェクト (2)第1回記念事業総務財務委員会議事録 (3)次世代ハンドブック編纂関係 (4)その他進捗状況報告：50年史編纂委員会メンバ(口頭) 平成19年度会員数の状況(12/14現在, 1/21現在)(総務) 平成19年12月本部収支状況/全会計四半期状況(財務) 平成20年度支部交付金(財務) 名誉会員 故 喜安先生ご遺族からの寄付の扱い(財務) 基金関連規程の一部変更と基金の移動(財務) 平成20年度役員・代表会員：最終候補者(総務) ML報告済 名誉会員の推薦(総務) 全国大会での感謝状および学会活動貢献賞の選定(総務) 論文誌体制の変更に伴う選奨規程等の委員基準の一括改訂(総務) 平成19年度フェロー選定(フェロー選定委員会) 	<p>次回詳細提案 確認 次回詳細提案 確認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認</p>

各種委員会

委員長・主査， 副委員長・財務委員， 幹事・副査， 担当理事（担務）、*オブザーバ， アドバイザ委員

1. 創立50周年記念事業

1.0 創立50周年記念事業準備委員会（平成19年7月設置～10月終了）

/ 土井美和子、 中島秀之、 勝山光太郎、 玉置政一、 後藤厚宏、 吉野松樹、 田中克己、 中田登志之、 橋田浩一

[平成19年9月25日、10月18日]

記念事業の基本方針 / 具体的事業内容・予算 / 推進組織（実行委員会）・運営体制（実働委員会）の検討立案 理事会へ提案

1.1 創立50周年記念事業実行委員会（平成19年度）（平成19年10月設置）

/ 佐々木元、 / 土井美和子、 中島秀之、 委員（各実働母体の委員長・幹事）：旭 寛治、 松田晃一、 橋田浩一、 川合 慧、 長谷川亨、 松原 仁、 中島 浩、 平田圭二、 坂井修一、 柴山悦哉、 中田登志之、 勝山光太郎、 玉置政一、 後藤厚宏、 吉野松樹

[平成19年12月20日、平成20年1月28日（理事会と併催）、3月25日（理事会と併催）]

記念事業の企画詳細検討・進捗報告：刊行物オンライン化 / 将棋プロジェクト / 50年史編纂 / 次世代ハンドブック / 記念式典ほか

1.1.1 50年史編纂委員会（平成20年1月設置）

旭 寛治、 / 長谷川亨、 / 松原 仁、 石崎 俊、 中島秀之、 発田弘、 前島正裕、 山田昭彦、 和田英一、 柳川隆之

[平成20年2月13日]

50年史編纂の推進：編集方針 / 全体構成 / 発行形態等の検討 / 記念展示委員会の設置提案

1.1.2 刊行物オンライン化委員会（平成19年度）（平成18年6月～19年9月までは「論文誌オンライン化検討WG」）

/ 中島秀之、 / 中島 浩、 平田圭二、 / 坂井修一、 / 柴山悦哉、 勝山光太郎、 玉置政一、 後藤厚宏、 吉野松樹

[平成19年4月12日、5月9日、7月2日、8月29日、12月18日、ほか電子メールベース]

刊行物オンライン化推進：論文誌オンライン化に伴う体制整備・公告 / 研究会オンライン化の試行推進 / 出版サイトの再考ほか

1.1.3 次世代ハンドブック編纂委員会（平成20年2月設置）

橋田浩一、 / 長谷川亨、 / 松原 仁、 / 中島 浩、 / 星 徹、 ほか若干名

[電子メールベース] 次世代ハンドブック編纂の推進

1.1.4 将棋プロジェクト委員会（平成20年3月設置）

/ 中島秀之、 / 松原 仁、 飯田弘之、 伊藤毅志、 柿木義一、 岸本章宏、 小谷善行、 柴山悦哉、 関口智嗣、 瀧澤武信、 棚瀬 寧、 鶴岡慶雅、 中島 浩、 保木邦仁、 山下 宏、 吉野松樹、 湖東俊彦

[電子メールベース] コンピュータ将棋とプロ棋士の対戦実現の推進

1.1.5 記念事業総務財務委員会（平成19年度）（平成19年10月設置）

/ 土井美和子、 中田登志之、 勝山光太郎、 玉置政一、 後藤厚宏、 吉野松樹

[平成20年1月23日、3月24日] 記念事業に関わる全体調整 / 予算執行管理 / 記念式典の企画立案

他に、記念式典実施委員会（松田晃一）、記念会誌編纂委員会（川合慧）、記念論文選考委員会、記念全国大会委員会は、平成20年度以降に始動。

2. 総務

2.1 総務財務運営委員会

/ 土井美和子、 勝山光太郎、 玉置政一、 後藤厚宏、 吉野松樹

委員は6月以降の構成を掲載（以下、同）

開催年月日	主な議事事項	会議結果
平成19年5月14日	1. 通常総会関連事項：特に当日の進行、監査報告書	確認 理事会へ報告
	2. 20年度理事担務（一部修正版）	確認 理事会へ報告
平成19年6月18日	1. 公益法人制度改革の状況	確認 理事会へ概要報告
	2. 平成18年度監事意見：アドバイザー・ボードの設置	意見交換
	3. 平成18年度監事意見：選挙制度の見直し	確認 現状維持を理事会へ報告
	4. 支部長会議の運営方法の変更	承認 支部長会議へ提案
	5. 海外誤送金に関する裁判状況	確認 理事会へ報告

平成19年7月24日	1. 平成20年度役員・代表会員選挙手続き 2. 会長諮問事項への対応：アドバイザーボード、公益法人改革、50周年 3. 銀行振込手数料の誤引落しの対応	承認 承認 承認	理事会へ提案 理事会へ報告・提案 理事会へ提案
平成19年9月18日	1. 海外誤送金に関する裁判判決の扱い 2. 公益法人改革への対応 3. 給与計算および社会保険業務のアウトソーシング	承認 承認	控訴しないことを理事会へ提案 情報収集および定款改訂作業 理事会へ提案
平成19年10月22日	1. 平成20年度事業全体方針・予算編成方針 2. 公益法人改革への対応	承認	理事会へ提案 情報収集および定款改訂作業（継続）
平成19年11月22日	1. 20年度事業計画概要 2. 20年度役員候補者選考投票結果と立候補依頼順位 3. 公益法人改革への対応 4. 事務局賃金規則の改定（人事院勧告準拠）	確認 承認 承認	理事会へ提案 理事会へ提案 情報収集および定款改訂作業（継続） 理事会へ提案
平成19年12月17日	1. 20年度役員・代表会員候補者立候補状況 2. 公益法人改革への対応	確認	理事会へ提案 情報収集および定款改訂作業（継続）
平成20年1月23日	1. 20年度事業計画・予算（1次案）/19年度進捗/18年度監事意見対応 2. 基金の移動と一部規程改訂：公益法人改革への対応 3. 寄付金受入れ	承認 承認 承認	理事会へ提案 理事会へ提案 理事会へ提案
平成20年3月24日	1. 20年度事業計画・予算/19年度事業報告・決算見込み 2. 20年度役員・代表会員選挙集計結果 3. 第51回通常総会次第	承認 承認 承認	理事会へ提案 会長確認後、理事会へ報告 理事会へ提案

2.2 支部長会議

/ 佐々木元、中島秀之、土井美和子、勝山光太郎、玉置政一、後藤厚宏、吉野松樹、
各支部長：鈴木恵二（北海道）、牧野正三（東北）、長谷川全司（東海）、広瀬貞樹（北陸）、田中克己（関西）、
田中章司郎（中国）、北 研二（四国）、尾家祐二（九州）

[平成19年7月25日、平成19年12月20日（役員検討会）] 本部-支部の意見交換

2.3 ITプロフェッショナル委員会（平成19年度から設置）

旭 寛治、青山幹雄、大岩 元、岡本栄司、筧 捷彦、勝山光太郎、玉置政一、土井美和子、徳田英幸、福田 晃

[平成19年5月11日、5月16日、6月15日、7月9日、9月20日、12月13日]

本会の資格制度の在り方の検討 / アドバイザリボード設置に向けた検討 / 社会提言 理事会へ提案

2.4 電子化委員会

/ 勝山光太郎、後藤厚宏、坂井修一、玉置政一、中島 浩、長谷川亨、村山優子、安信千津子

[平成19年10月22日]

学会マネジメントシステムの機能強化・ユーザビリティの改善ほか、各事業のシステム開発管理。

2.4.1 セキュリティ委員会

/ 村山優子、勝山光太郎、大谷和子、()岡本栄司、菊池浩明、佐々木良一、寺田真敏、鳥居 悟、萩原兼一、丸山 宏

[電子メールベース] 情報セキュリティに関する諸対応。

2.5 学生会員育成委員会

益田隆司、小橋喜嗣、土井美和子、勝山光太郎、玉置政一、後藤厚宏、吉野松樹、今井 浩

[平成19年11月22日、ほか電子メールベース]

各支部・各研究会への学生会員勧誘の協力依頼 / 正会員への移行状況の把握 / IPSJ論文船井若手奨励賞の候補者推薦

3. 調査研究活動

3.1 調査研究運営委員会

/ 中島秀之、今井 浩、中島 浩、星 徹、池内克史、石田 亨、坂井修一、佐藤三久、高橋 修、橋田浩一

開催年月日	主な議事項	会議結果
平成19年7月3日	1. 共催会議の著作権の扱い	検討 著作権委員会へ要望依頼

	2. 若手奨励賞の設置企画	確認	各領域で検討
平成19年10月16日	1. 平成20年度研究会登録費等の算定方法 / 研究会等の継続	承認	理事会へ提案
	2. オンライン化に伴う論文番号と引用方法の扱い	承認	刊行物オンライン化委員会へ提案
平成20年3月7日	1. 50年史およびハンドブック編纂への協力	承認	各研究会へ依頼
	2. 若手研究者の国際会議参加サポート	承認	基準策定後に運営

3.2 コンピュータサイエンス領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

/ 中島 浩、佐藤三久、岩崎英哉、小野寺秀俊、北 栄輔、角谷和俊、高田広章、中村 宏、永持 仁、並木美太郎、羽生田栄一、朴 泰祐

平成19年7月6日	領域共通-1. 共催会議の著作権の扱い	検討状況確認
	領域共通-2. 若手奨励賞	確認
平成19年10月2日	領域共通-1. 研究会の新設・継続	承認 調査研究運営委員会へ提案
	領域共通-2. 平成20年度研究会登録費 / トランザクション予算の扱い	承認 / 確認
	領域共通-3. 共催会議の著作権の扱い	検討状況確認
平成20年2月22日	領域共通-1. 19年度活動状況 / 20年度計画	確認
	領域共通-2. 共催会議の著作権の扱いに関する覚書	確認
	領域共通-3. 50年史およびハンドブック編纂への協力	意見交換

3.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

/ 星 徹、高橋 修、相原玲二、市川照久、大場みち子、小花貞夫、甲藤二郎、岸田和明、木下俊之、櫻井紀彦、寺田真敏、戸辺義人、中小路久美代、西田友是、藤村直美、宗森 純、渡辺 尚

[平成19年7月12日、10月4日、平成20年2月21日]
いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

3.4 フロンティア領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

橋田浩一、池内克史、今井 宏、阿久津達也、飯田弘之、稲見昌彦、小野哲雄、上林憲行、亀山 涉、後藤真孝、鈴木卓治、武田一哉、谷口倫一郎、中川裕志、中森眞理雄

[平成19年7月18日、9月12日、平成20年2月25日]
いずれもコンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

3.5 トランザクション編集会議

/ 中島 浩、岩崎英哉（PRO）、城 和貴（TOM）、佐藤哲司（TOD）、角谷和俊（TOD）、吉岡真治（TOD）、朴 泰祐（ACS）、横矢直和（T-CVIM）、阿久津達也（TB10）、小野寺秀俊（T-SLDM）

[平成19年9月18日、ほか電子メールベース] 新規トランザクション編集委員会の設置 学会論文誌運営委員会へ提案。

4. 教育活動

4.1 情報処理教育委員会（教育賞選定委員会を兼ねる）（傘下の委員会は掲載略）

箕 捷彦、角田博保、佐渡一広、岡本栄司、福田 晃、阿草清滋、有澤 誠、市川照久、牛島和夫、大岩 元、神沼靖子、川合 慧、河村一樹、久野 靖、黒川恒雄、駒谷昇一、佐々木良一、武井恵雄、竹井大輔、辰己丈夫、富樫 敦、都倉信樹、富田悦次、中森眞理雄、西田知博、疋田輝雄、堀内征治、本位田真一、望月徹英、山本昌弘、弓場敏嗣

[平成19年4月19日、6月4日、7月2日、9月26日、11月14日、12月11日、平成20年2月5日、3月13日]
情報教育に関する提言提案 / JABEE対応 / J07の策定 / 文科省 先導的大学の改革推進事業受託対応 / 傘下の小委員会報告ほか

5. 事業活動

5.1 事業推進委員会

/ 村山優子、 / 田中二郎、勝山光太郎、後藤厚宏、玉置政一、吉野松樹、松井くにお、徳田英幸、長谷川亨、今井 浩

[電子メールベース] 各イベント開催の進捗状況管理 / 20年度連続セミナー等の企画運営ほか。

5.2 第70回（平成20年春）全国大会プログラム委員会

喜連川優、北川博之、関口智嗣、安達 淳、村山優子、田中二郎、長谷川亨、上岡英史、片山紀生、池田 誠、秋山康智、野村佳秀、熊谷 誠、治羽生田栄一、小池 淳、川崎 洋、吉野 孝、中野美由紀、中島伸介、天笠俊之、北原 格、森 彰、小林克志

[平成19年5月28日、7月17日、9月1日、10月25日] 第70回大会の開催に関する検討実施およびプログラム編成。

5.3 第71回（平成21年春）全国大会組織委員会

/ 土井美和子、/ 田中二郎、後藤厚宏、吉野松樹、松原 仁、柴山悦哉、星 徹、徳田英幸、西田豊明、福田 晃

[電子メールアドレス] 第71回大会の開催に関する検討実施。

5.4 FIT推進委員会（実行委員会・プログラム委員会は掲載略）

/ 中島秀之、末永康仁、村山優子、田中二郎、今井 浩、星 徹、松居辰則、大隈隆史、大和 淳司、亀井俊男、山下雅史

[平成19年6月25日、11月6日] FITの運営推進に関する検討対応。

5.5 プログラミング・シンポジウム幹事会

多田好克、鈴木 貢、高岡詠子、田中哲朗、中村嘉志、前田敦司、丸山一貴、和田英一

[平成19年6月14日、10月19日、12月14日] 夏のプロシン / 若手の会 / プロシンの開催に関する検討実施。

6. 機関誌 / 出版活動

6.1 会誌編集委員会

川合 慧、/ 長谷川亨、/ 松原 仁、池田 誠、石田 亨、片山 博、兼宗 進、上岡英史、熊谷誠治、久門耕一、胡 振江、佐伯元司、白木善尚、田中哲朗、()土井美和子、野村佳秀、前田英作、間瀬久雄、三浦健次郎、山崎竹視、山下博之、山本里枝子

[平成19年4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、9月10日、10月15日、11月12日、12月10日、平成20年1月16日、2月18日、3月10日]
全回共通：会誌の編集に関する検討実施。

6.2 学会論文誌運営委員会（平成19年度から設置）

/ 中島秀之、今井 浩、坂井修一、柴山悦哉、中島 浩、星 徹

[平成19年9月20日、平成20年1月22日、ほか電子メールアドレス]

学会論文誌（ジャーナル、トランザクション、DC）の各編集細則承認 / 新体制の推進 / 今後の論文賞の扱い、ほか。

6.2.1 論文誌ジャーナル編集委員会（幹事会）

/ 坂井修一、/ 柴山悦哉、荒木拓也、折原良平、亀田能成、児玉祐悦、西山 智、藤田 茂、満保雅浩、吉野 孝

[平成19年4月6日、5月9日、6月5日、7月3日、9月3日、10月2日、11月6日、12月4日、平成20年1月8日、2月5日、3月4日]

全回共通：論文誌ジャーナルの編集に関する検討実施。

6.2.2 論文誌トランザクション編集委員会（詳細略）

各編集委員長は2.5トランザクション編集会議を参照。

6.2.3 IPSJ Digital Courier編集委員会（詳細略）

委員は6.2.1ジャーナル編集委員会幹事会メンバおよび3.5の各トランザクション編集委員長を参照。

6.3 出版委員会

/ 長谷川亨、/ 松原 仁

[電子メールアドレス] 出版関連契約ほか。

6.3.1 英文図書出版委員会

近山 隆、江崎 浩、井上智雄、奥乃 博、河原達也、喜連川優、滝沢 誠、藤田友之、*原田 誠

[電子メールアドレス] 英文図書の発行に関する検討実施。

6.3.2 教科書委員会

松下 温、 阪田史郎、伊藤 潔、井戸上彰、今城哲二、大河内正明、駒谷昇一、坂下善彦、曾根原登、西田豊明、本位田真一

[平成19年5月24日、12月27日] 教科書シリーズの発行に関する検討実施。

6.4 歴史特別委員会（傘下の小委員会は掲載略）

発田 弘、 松永俊雄、旭 寛治、鶴飼直哉、浦城恒雄、()坂井修一、前島正裕、山田昭彦、和田英一、*宇田 理

[平成19年5月24、7月26日、10月5日、12月18日、平成20年2月12日]

オーラルヒストリー、コンピュータ博物館、卓越技術DB、「コンピュータの歴史」の推進 / IT遺産・分散実博物館の企画提案。

6.5 著作権委員会

/ 長谷川亨、 / 松原 仁、天野真家、 今井 浩、大谷和子、 勝山光太郎、 坂井修一、杉本重雄、平田圭二、丸山 宏

[平成19年4月24日、7月26日、ほか電子メールベース] 共催会議の著作権の扱い対応ほか。

7. 技術応用活動

7.1 技術応用運営委員会（ソフトウェアジャパン実行委員会は掲載略）

/ 徳田英幸、 / 松井くにお、青山幹雄、西野文人、長谷川亨、後藤厚宏、柴山悦哉、吉野松樹

[平成19年5月8日、7月26日、8月31日、10月30日、11月29日、12月25日]

ITフォーラムの活性化に向けた検討対応 / ソフトウェアジャパンの開催ほか。

8. 標準化活動

8.1 情報規格調査会（規格役員会）

石崎 俊、 大蒔和仁、加治佐俊一、菅 隆志、木戸彰夫、櫻井義人、成田博和、成井良久、平野芳行、百合野真司、山室雅司、吉野松樹

[平成19年4月9日、5月14日、6月11日、7月9日、9月10日、10月22日、11月19日、12月10日、平成20年1月21日、2月18日、3月17日]

全回共通：規格賛助員の入退会等 / 委員会関連変更 / 国際会議派遣・招致 / 月次決算。

その他、危険地域での国際活動の対応 / 標準化関連受託契約ほか。

9. 国際活動

9.1 国際業務委員会

/ 安信千津子、 / 西田豊明、山田昭彦、三上喜貴、ACM事務局代表者

[平成19年12月7日] 国際会議の申請・終了報告の確認 / SEARRCの状況把握と対応 / 危険地域での国際活動の対応ほか。

9.2 IFIP委員会

/ 中島秀之、 齊藤忠夫（IFIP日本代表）、 / 安信千津子、 / 西田豊明、伊藤貴康、小林直樹、萩谷昌己、大岩 元、木村文彦、齊藤忠夫、亀田壽夫、内木哲也、松本恒雄、南谷 崇、()村山優子、佐々木良一、黒須正明、中津良平、田島譲二、発田 弘、武田 裕

[平成19年11月12日] 危険地域での国際活動の対応 / IFIP年次総会報告 / 各TCの活動報告ほか。

10. その他委員会：委員は以下のサイトを参照

<http://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/meibo/index.html>

付2．研究会および研究発表・学術講習会等一覧

[研究会等の詳細]

研究会等の名称 (() 内：英略称、*：研究グループ)	主査名 (運営委員数)	登録者数
[コンピュータサイエンス領域]		
データベースシステム (DBS)	角谷 和俊 (46)	597
ソフトウェア工学 (SE)	羽生田栄一 (42)	589
計算機アーキテクチャ (ARC)	中村 宏 (38)	465
システムソフトウェアとオペレーティング・システム (OS)	並木 美太郎 (31)	412
システムLSI設計技術 (SLDM)	小野寺秀俊 (38)	366
ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC)	朴 泰祐 (44)	540
プログラミング (PRO)	岩崎英哉 (25)	444
アルゴリズム (AL)	永持 仁 (31)	304
数理モデル化と問題解決 (MPS)	北 栄輔 (28)	396
組込みシステム (EMB)	高田広章 (31)	319
[情報環境領域]		
マルチメディア通信と分散処理 (DPS)	櫻井紀彦 (47)	467
ヒューマンコンピュータインタラクション (HCI)	中小路久美代 (30)	599
グラフィクスとCAD (CG)	西田友是 (31)	388
情報システムと社会環境 (IS)	市川照久 (22)	282
情報学基礎 (FI)	岸田和明 (21)	265
オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM)	甲藤二郎 (15)	188
グループウェアとネットワークサービス (GN)	宗森 純 (33)	353
分散システム/インターネット運用技術 (DSM)	藤村直美 (30)	406
デジタルドキュメント (DD)	大場みち子 (17)	237
モバイルコンピューティングとユビキタス通信 (MBL)	渡辺 尚 (44)	465
コンピュータセキュリティ (CSEC)	寺田真敏 (37)	547
高度交通システム (ITS)	小花貞夫 (22)	246
高品質インターネット (QAI)	相原玲二 (17)	150
システム評価 (EVA)	木下俊之 (19)	148
ユビキタスコンピューティング (UBI)	戸辺義人 (32)	348
*放送コンピューティング (BCC)	岡田謙一 (---)	---
[フロンティア領域]		
自然言語処理 (NL)	中川裕志 (24)	629
知能と複雑系 (ICS)	小野哲雄 (19)	406
コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)	谷口倫一郎 (64)	667
コンピュータと教育 (CE)	中森真理雄 (40)	593
人文科学とコンピュータ (CH)	鈴木卓治 (26)	315
音楽情報科学 (MUS)	後藤真孝 (30)	426
音声言語情報処理 (SLP)	武田一哉 (27)	335
電子化知的財産・社会基盤 (EIP)	亀山 涉 (23)	187
ゲーム情報学 (GI)	飯田弘之 (20)	284
エンタテインメントコンピューティング (EC)	稲見昌彦 (24)	173
バイオ情報学 (BIO)	阿久津達也 (14)	159
*ネットワーク生態学 (NE)	上林憲行 (---)	---
[調査研究運営委員会]		
*教育学習支援情報システム (CMS)	美濃導彦 (---)	---

1. 研究発表会（調査研究活動分）

1.1 コンピュータサイエンス領域

1.1.1 データベースシステム研究発表会

回数	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体
第142回	平成19年5月31日～6月1日	東京工業大学	12	70	
第143回	平成19年7月2日～4日	ホテルニュー水戸屋	93	30	電子情報通信学会
第144回	平成20年1月24日～25日	ホテル天坊	27	37	

1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第156回	平成19年5月28日～29日	化学会館	14	43	
第157回	平成19年9月27日～28日	キャンパスプラザ京都	16	37	
第158回	平成19年11月2日	明治大学	9	15	
第159回	平成20年3月17日～18日	化学会館	30	80	

1.1.3 計算機アーキテクチャ研究発表会

第165回	平成19年5月31日～6月1日	富士通研究所	20	45	電子情報通信学会
第166回	平成19年8月1日～3日	旭川国際会議場	36	146	
第167回	平成19年11月21日～22日	北九州国際会議場	18	70	
第168回	平成20年1月15日～16日	慶應義塾大学	14	56	
第169回	平成20年3月5日～6日	北海道大学	36	76	

1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第105回	平成19年4月5日～6日	沖縄県青年会館	21	40	
第106回	平成19年8月3日	旭川国際会議場	16	78	
第107回	平成20年1月30日～31日	奈良先端科学技術大学院大学	16	39	

1.1.5 システムLSI設計技術研究発表会

第130回	平成19年5月10日～11日	京大会館	16	27	電子情報通信学会
第131回	平成19年10月26日	会津東山温泉くつろぎ宿	7	14	電子情報通信学会
第132回	平成19年11月20日～22日	北九州国際会議場	35	44	電子情報通信学会
第133回	平成20年1月16日～17日	慶應義塾大学	32	33	電子情報通信学会
第134回	平成20年3月27日～28日	屋久島	37	17	電子情報通信学会

1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第110回	平成19年6月8日	海洋研究開発機構	6	54	
第111回	平成19年8月1日～3日	旭川国際会議場	51	180	
第112回	平成19年9月9日	ロッセホテル	12	21	
第113回	平成19年12月7日	筑波大学	8	46	
第114回	平成20年3月5日～6日	北海道大学	36	99	

1.1.7 プログラミング研究発表会

第64回	平成19年6月8日	筑波大学	7	16	
第65回	平成19年8月1日～2日	旭川国際会議場	6	31	
第66回	平成19年10月11日～12日	名古屋大学	9	25	
第67回	平成20年1月24日～25日	東北大学	16	29	
第68回	平成20年3月17日～18日	日本IBM	14	65	

1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第112回	平成19年5月11日	岩手大学	10	16	
第113回	平成19年7月3日	京都大学	7	24	
第114回	平成19年9月21日	豊橋技術科学大学	11	28	
第115回	平成19年11月30日	新潟大学	10	21	

第116回	平成20年1月23日	法政大学	8	17	
第117回	平成20年3月7日	広島市立大学	13	33	

1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第64回	平成19年5月17日	大阪大学	12	13	
第65回	平成19年6月25日	モンテカルロリゾート	14	16	
第66回	平成19年9月3日～4日	名古屋大学	29	52	
第67回	平成19年12月20日～21日	産業技術総合研究所	59	68	
第68回	平成20年3月4日～6日	道後温泉ホテル椿館	47	70	

1.1.10 組込みシステム研究発表会

第5回	平成19年5月28日～29日	化学会館	14	34	
第6回	平成19年12月4日	名古屋大学	9	46	
第7回	平成20年1月15日～16日	慶應義塾大学	14	44	
第8回	平成20年3月27日～28日	屋久島	37	17	電子情報通信学会

1.2 情報環境領域

1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第131回	平成19年6月6日～7日	岩手県立大学	19	34	
第132回	平成19年9月20日～21日	山口市菜香亭	28	41	
第133回	平成19年11月26日～27日	東洋大学	16	46	
第134回	平成20年3月6日～7日	ATR	54	86	

1.2.2 ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会

第123回	平成19年5月11日	産業技術総合研究所	10	70	
第124回	平成19年7月6日～7日	マリンヒルホテル小樽	12	28	
第125回	平成19年9月28日	大阪大学	12	33	
第126回	平成19年11月12日	東京大学	10	67	
第127回	平成20年1月31日～2月1日	広島大学	22	42	

1.2.3 グラフィクスとCAD研究発表会

第127回	平成19年7月9日	筑波大学	11	38	
第128回	平成19年8月16日～17日	アルカディアビレッジ	13	27	
第129回	平成19年11月12日～13日	和歌山大学	19	47	
第130回	平成20年2月18日～19日	東京大学	26	72	

1.2.4 情報システムと社会環境研究発表会

第100回	平成19年6月5日	日立目白クラブ	5	27	
第101回	平成19年8月23日	JUSA	7	18	
第102回	平成19年11月5日～6日	岩手県立大学	8	29	電気学会
第103回	平成20年3月4日～5日	専修大学	17	39	

1.2.5 情報学基礎研究発表会

第87回	平成19年5月31日～6月1日	東京工業大学	12	47	
第88回	平成19年11月8日	筑波大学	7	9	
第89回	平成20年1月21日～22日	国立情報学研究所	21	67	
第90回	平成20年3月28日	専修大学	11	34	

1.2.6 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第57回	平成19年7月19日～20日	新潟大学	18	14	電子情報通信学会
第58回	平成19年9月25日～26日	九州工業大学	12	14	
第59回	平成19年12月13日～14日	北海道大学 / 名古屋大学	25	7	電子情報通信学会 映像情報メディア学会

第60回	平成20年3月6日～7日	沖縄セルラー	12	18	
------	--------------	--------	----	----	--

1.2.7 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第64回	平成19年6月1日	大阪産業創造館	13	23	電子情報通信学会
第65回	平成19年9月20日～21日	山口市菜香亭	28	43	
第66回	平成20年1月24日～25日	ホテル天坊	27	40	
第67回	平成20年3月21日	東京工科大学	24	51	

1.2.8 分散システム/インターネット運用技術研究発表会

第45回	平成19年5月10日～11日	高知工科大学	21	34	電子情報通信学会
第46回	平成19年7月19日～20日	京都女子大学	20	53	電子情報通信学会
第47回	平成19年9月21日	山梨県立大学	10	40	
第48回	平成20年3月6日～7日	北陸先端科学技術大学院大学	14	57	

1.2.9 デジタルドキュメント研究発表会

第61回	平成19年5月25日	日立製作所	6	18	
第62回	平成19年7月26日～27日	はこだて未来大学	14	15	電子情報通信学会
第63回	平成19年9月28日	日立製作所	9	23	
第64回	平成20年1月31日～2月1日	鳥取環境大学	22	29	
第65回	平成20年3月28日	専修大学	11	33	

1.2.10 モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会

第41回	平成19年5月17日～18日	沖縄県青年会館	24	27	電子情報通信学会
第42回	平成19年9月27日～28日	東京電機大学	17	44	
第43回	平成19年11月21日～22日	京都大学	21	52	
第44回	平成20年3月5日～6日	慶應義塾大学	35	57	

1.2.11 コンピュータセキュリティ研究発表会

第37回	平成19年5月25日	キヤノン	15	60	
第38回	平成19年7月19日～20日	はこだて未来大学	58	70	電子情報通信学会
第39回	平成19年12月14日	東京理科大学	14	57	
第40回	平成20年3月6日～7日	ATR	54	86	

1.2.12 高度交通システム研究発表会

第29回	平成19年6月15日	岩手県立大学	6	13	
第30回	平成19年9月18日～19日	東京大学	14	31	電子情報通信学会
第31回	平成19年11月21日～22日	京都大学	21	44	
第32回	平成20年3月7日	慶應義塾大学	8	36	

1.2.13 高品質インターネット研究発表会

第23回	平成19年5月29日～30日	国立情報学研究所	9	22	電子情報通信学会
第24回	平成19年7月19日～20日	京都女子大学	20	32	電子情報通信学会
第25回	平成19年10月25日～26日	福岡リサーチパーク	11	14	電子情報通信学会
第26回	平成20年3月6日～7日	北陸先端科学技術大学院大学	14	34	

1.2.14 システム評価研究発表会

第21回	平成19年6月22日	日立製作所	5	14	
第22回	平成19年8月2日	旭川国際会議場	3	13	
第23回	平成19年11月19日	北陸先端科学技術大学院大学	4	9	
第24回	平成20年3月19日	広島大学	10	20	

1.2.15 コピキタスコンピューティングシステム研究発表会

第14回	平成19年5月23日	立命館大学	11	35	
第15回	平成19年7月19日～20日	東京電機大学	16	63	
第16回	平成19年11月29日～30日	はこだて未来大学サテライト	19	50	
第17回	平成20年3月5日～6日	慶應義塾大学	35	53	

1.3 フロンティア領域

1.3.1 自然言語処理研究発表会

第179回	平成19年5月24日～25日	法政大学	18	62	
第180回	平成19年7月24日～25日	徳島大学	28	44	電子情報通信学会
第181回	平成19年9月25日～26日	東京大学	20	80	
第182回	平成19年11月19日～20日	静岡大学	15	49	
第183回	平成20年1月21日～22日	国立情報学研究所	21	90	
第184回	平成20年3月27日～28日	情報通信研究機構	18	40	

1.3.2 知能と複雑系研究発表会

第148回	平成19年7月4日	国立情報学研究所	10	20	人工知能学会
第149回	平成19年10月29日～31日	沖縄コンベンションセンター	7	7	
第150回	平成20年1月22日	慶應義塾大学	6	13	
第151回	平成20年3月5日～7日	定山溪ホテル	23	10	電子情報通信学会

1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第159回	平成19年5月14日～15日	東京大学	32	127	
第160回	平成19年9月3日～4日	名古屋大学	42	68	電子情報通信学会
第161回	平成20年1月17日～18日	龍谷大学	58	62	電子情報通信学会
第162回	平成20年3月10日～11日	北陸先端科学技術大学院大学	87	81	電子情報通信学会

1.3.4 コンピュータと教育研究発表会

第89回	平成19年5月19日	桃山学院大学	6	32	
第90回	平成19年7月7日	獨協大学	12	49	
第91回	平成19年10月5日～6日	高知工科大学	19	58	
第92回	平成19年12月7日～8日	沖縄IT創造館	18	50	
第93回	平成20年2月16日～17日	東京農工大学	22	83	

1.3.5 人文科学とコンピュータ研究発表会

第74回	平成19年5月25日	龍谷大学	13	50	
第75回	平成19年7月27日	神奈川工科大学	9	34	
第76回	平成19年9月27日	東南技術大学(台湾)	10	8	
第77回	平成20年1月25日	東洋大学	7	39	

1.3.6 音楽情報科学研究発表会

第70回	平成19年5月10日～11日	パナソニック	17	84	
第71回	平成19年8月1日～3日	ロワジールホテル長崎	30	71	
第72回	平成19年10月11日～12日	ヤマハ(浜松)	16	100	
第73回	平成19年12月14日～15日	多摩美術大学	152	73	
第74回	平成20年2月8日～9日	伊東温泉	38	102	

1.3.7 音声言語情報処理研究発表会

第66回	平成19年5月24日～25日	法政大学	17	59	
第67回	平成19年7月20日～21日	秋保温泉	20	56	
第68回	平成19年10月19日	早稲田大学	10	80	
第69回	平成19年12月20日～21日	NTT けいはんな	55	72	電子情報通信学会

第70回	平成20年2月8日～9日	伊東温泉	38	76	
------	--------------	------	----	----	--

1.3.8 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第36回	平成19年5月25日	国際赤坂ビル	9	8	電子情報通信学会
第37回	平成19年9月20日～21日	山口市菜香亭	28	33	
第38回	平成19年12月1日	同志社大学	7	20	
第39回	平成20年1月31日～2月1日	鳥取環境大学	22	28	

1.3.9 ゲーム情報学研究発表会

第18回	平成19年6月22日	広島大学	7	13	
第19回	平成20年3月12日	東京工科大学	9	36	

1.3.10 エンタテインメントコンピューティング研究発表会

第7回	平成19年5月24日～25日	法政大学	17	64	
第8回	平成19年12月8日～9日	五島コンカナ王国	6	11	
第9回	平成20年3月7日～8日	香川大学	18	34	

1.3.11 バイオ情報学研究発表会

第9回	平成19年6月14日～15日	沖縄OIST	9	23	電子情報通信学会
第10回	平成19年9月13日～14日	はこだて未来大学	11	26	
第11回	平成19年12月20日～21日	産業技術総合研究所	59	60	
第12回	平成20年3月3日～4日	九州大学	12	29	

2. シンポジウム等

2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS 2007	平成19年5月23日～25日	学術総合センター	37	279	
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOM2007) シンポジウム	平成19年7月4日～6日	鳥羽温泉 戸田家	272	401	
HCIワークショップ12	平成19年7月6日～7日	マリンヒルホテル小樽		27	
情報教育シンポジウム2007	平成19年8月26日～28日	三重県鈴鹿国定公園 希望荘	43	109	
ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2007	平成19年8月27日～29日	日本科学未来館	27	154	
DAシンポジウム2007	平成19年8月29日～30日	遠鉄エンパイヤホテル	40	154	
組込みシステムシンポジウム2007	平成19年10月18日～20日	日本科学未来館	36	212	
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	平成19年10月31日～11月2日	石川県加賀市依禄園	54	85	
コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2007)	平成19年10月31日～11月2日	奈良新公会堂	114	253	
グループウェアとネットワークサービスワークショップ2007	平成19年11月8日～9日	ホテル磯辺ガーデン	26	48	
ゲームプログラミングワークショップ2007	平成19年11月9日～11日	箱根セミナーハウス	31	88	
デジタルドキュメントシンポジウム2007	平成19年11月22日	日立製作所	5	107	
分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2007	平成19年11月26日～27日	学習院創立百周年記念会館	13	50	
コンピュータシステム・シンポジウム	平成19年11月27日～28日	東京ファッションタウン	26	89	
データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム	平成19年11月27日～28日	東京大学	75	344	
人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2007」	平成19年12月13日～14日	京都大学 京大会館	54	155	
高度交通システム2008シンポジウム	平成20年1月11日	日本科学未来館	7	100	
2008年ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学シンポジウム (HPCS2008)	平成20年1月17日～18日	東京工業大学	36	150	
ISチュートリアル「ITの価値」	平成20年1月18日	日本IBM	4	37	
ウインターワークショップ2008・イン・道後	平成20年1月24日～25日	愛媛大学/大和屋本店	62	62	
ITS産業フォーラム	平成20年2月29日	化学会館	4	43	
インタラクシオン2008	平成20年3月3日～4日	学術総合センター	70	659	

2.2 教育活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	共催団体
大学入試と情報フォーラム2007	平成19年6月9日	東京大学 本郷キャンパス	10	59	注1
JABEE情報および情報関連分野審査講習会および技術者教育セミナー	平成19年8月6日(～7日)	化学会館会議室	14	28	注2
産業界が求める情報システム人材のスキル 2007	平成19年9月18日	専修大学神田キャンパス	4	30	注3
高校「情報」シンポジウム2007-ジョーシン07-	平成19年10月27日	早稲田大学 大久保キャンパス	10	88	注4
高校「情報」シンポジウム in 関西 -ジョーシンin 関西-	平成20年3月2日	千里金蘭大学 大阪梅田キャンパス	5	100	注5

注1) 主催：本会 情報処理教育委員会、共催：同 初等中等教育委員会、同 コンピュータと教育研究会、韓国コンピュータ教育学会

注2) 電気学会、電子情報通信学会、理工系情報学科協議会

注3) 協賛：情報システム学会、経営情報学会、日本社会情報学会、日本情報経営学会、情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザー協会、本会 情報システムと社会環境研究会

注4) 主催：本会 情報処理教育委員会、共催：同 初等中等教育委員会、同 コンピュータと教育委員会、後援：文部科学省、および東京都、神奈川県、茨城県、栃木県、埼玉県、群馬県、千葉県 各教育委員会、教育システム情報学会、日本教育工学会、コンピュータ利用教育協議会

注5) 主催：本会 情報処理教育委員会/初等中等教育委員会、共催：同 コンピュータと教育委員会、同 関西支部、後援：大阪私学教育情報化研究会(おおさか私学ネット)、大阪府高等学校情報教育研究会、文部科学省、大阪府教育委員会、大阪府教育委員会、堺市教育委員会、京都府教育委員会、京都市教育委員会、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会

3. 事業活動

3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
第70回全国大会	平成20年3月13日～15日	筑波大学	1,535	3	2,877
第70回全国大会サテライトイベント 「ワクワクIT@あきば2008」	平成20年3月12日～13日	秋葉原コンベンションホール	9 セッション	2	1,296

3.2 FIT (情報科学技術フォーラム)

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
FIT2007 第6回情報科学技術フォーラム	平成19年9月5日～7日	中京大学	853	1	1,806

共催：電子情報通信学会（情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ）

3.3 連続セミナー2007：テーマ「情報セキュリティ2.0 -自由と統制の時代の情報セキュリティ-」

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
進化するマルウェアとセキュリティ	平成19年6月6日	化学会館	6	94
ビジネスと生活を結ぶセキュリティ	平成19年7月12日	東京電機大学	5	95
J-SOX時代のデジタル・フォレンジック	平成19年9月4日	東京電機大学	5	92
その後の個人情報保護	平成19年10月19日	東京電機大学	5	94
バイオインフォマティクスの現状と今後	平成19年11月14日	東京電機大学	5	88
次世代暗号技術への移行に向けた課題と対応	平成19年12月14日	東京電機大学	4	87

後援：情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザ協会、電子情報技術産業協会、情報処理推進機構、東京電機大学未来科学部

3.4 短期集中セミナー

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
インターネット放送の現在と展望	平成20年1月18日	化学会館	5	58	注1

注1) 協賛：情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザ協会、電子情報技術産業協会、情報処理推進機構

3.5 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム2007	平成19年8月8日～10日	信州戸倉上山田温泉 ホテル清風園	20	42
第40回情報科学若手の会	平成19年9月15日～17日	東富士リサーチハウス	7	27
第49回プログラミング・シンポジウム	平成20年1月8日～10日	箱根ホテル小涌園	25	107

4. 技術応用活動

4.1 個別ITフォーラム (8件)

名称	代表者名
ITアーキテクト・CIO	榊原 彰
サービスサイエンス	丸山文宏、丸山 宏、諏訪良武
ユーザスタディ	田村 大、野村早恵子
Web2.0	栗原 潔
イノベティブ社会基盤	神成淳司
福祉情報システム	菟川友宏
ITダイバーシティ	青山幹雄、安信千津子
高度IT人材育成フォーラム	牛島和夫、箕 捷彦、掛下哲郎

4.2 ITフォーラム関連のイベント

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
高度IT人材育成フォーラム - 産官学の連携とその継続に必要なものは？ -	平成19年10月24日	早稲田大学 井深ホール	9	205	注1
ソフトウェアジャパン2008	平成20年1月29日	東京ステーションコン ファレンス	5	342	注2, 注3

注1) 主催：本会 高度IT人材育成フォーラム、早稲田大学 先端ITスペシャリスト育成プログラム、協賛：本会 ITプロフェッショナル委員会、
日本経済団体連合会、情報サービス産業協会、日本情報システム・ユーザー協会、日本技術士会、情報システム学会、
後援：文部科学省、経済産業省

注2) 協賛：日本情報システム・ユーザー協会、情報サービス産業協会、電子情報技術産業協会、電子情報通信学会、XMLコンソーシアム、
日本ソフトウェア科学会、情報処理推進機構、後援：文部科学省、経済産業省、総務省

注3) 5件の招待講演のほかに7件のITフォーラムセッションとIPAセミナーを開催

付3. 刊行物（機関誌・図書）一覧

1. 会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	記事数	本文頁数	広告頁数
平成19年4月15日	48	4	21,870	ICタグと医療環境	17	96	5
平成19年5月15日	48	5	21,840	地域サービスの高度化に向けて / ITフォーラムへの誘い	24	120	6
平成19年6月15日	48	6	22,020	非接触ICカード技術とその展開 / 教育用プログラミング言語と授業利用	26	144	4
平成19年7月15日	48	7	22,190	情報セキュリティ研究開発の動向	29	120	6
平成19年8月15日	48	8	22,200	情報の価値化・知識化技術の実現へ向けて	23	144	5
平成19年9月15日	48	9	20,730	利用者の好みをとらえ活かす	18	112	4
平成19年10月15日	48	10	20,870	次世代統合シミュレーション技術 / ブロードバンド時代に臨むMPEG標準化動向とコンテンツ管理技術	21	112	8
平成19年11月15日	48	11	20,980	変わりつつある情報教育	22	136	6
平成19年12月15日	48	12	21,350	情報技術が支えるアートとコンテンツの世界 / 女性たちが拓くIT	23	152	7
平成20年1月15日	49	1	21,700	ロボットメディアによる人間情報処理研究	16	124	5
平成20年2月15日	49	2	21,900	ソフトウェアテストの最新動向	16	108	7
平成20年3月15日	49	3	22,250	IPv6技術の研究開発（産学連携と国際展開の軌跡） / 複雑ネットワーク科学の拡がり	20	112	4

2. 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

発行年月日	巻	号	発行部数	その他参考			
				特集テーマ	論文数	テクニカルノート数	本文頁数
平成19年4月15日	48	4	5,010	ユーザ指向の分散システム / インターネットの運用・管理	27	0	332
平成19年5月15日	48	5	5,030	システムLSI設計とその技術	13	0	145
平成19年6月15日	48	6	5,070	ICMU2006	12	0	131
平成19年7月15日	48	7	5,070	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2006)	26	3	312
平成19年8月15日	48	8	5,090	ソフトウェア工学の理論と実践 / 情報教育-理念・理論・実践-	32	2	411
平成19年9月15日	48	9	4,830	組み込みシステム工学 / 情報システムを支えるコンピュータセキュリティ技術の再考	37	1	435
平成19年10月15日	48	10	4,840	---	8	1	95
平成19年11月15日	48	11	4,880	ゲームプログラミング	17	1	172
平成19年12月15日	48	12	4,940	インタラクションの理解とデザイン	41	2	479
平成20年1月15日	49	1	4,970	人間中心のユニバーサル/ユビキタス・ネットワークサービス / 次世代社会基盤をもたらす高度交通システムとモバイル通信システム	45	3	538
平成20年2月15日	49	2	4,980	情報洪水時代のネットワークサービス / 社会的課題に挑む情報システム	43	0	505
平成20年3月15日	49	3	4,990	新しいパラダイムの中での分散システム / インターネット運用・管理	38	0	449

3. 「情報処理学会論文誌（トランザクション）」（不定期）

発行年月日	巻	号	トランザクション名	発行部数	その他参考	
					論文数	本文頁数
平成19年5月15日	48	SIG8(ACS18)	コンピューティングシステム	1270	20	226
平成19年6月15日	48	SIG9(CVIM18)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1420	10	123
平成19年6月15日	48	SIG10(PRO33)	プログラミング	460	13	202

平成19年6月15日	48	SIG11(TOD34)	データベースシステム	880	18	234
平成19年8月15日	48	SIG12(PRO34)	プログラミング	460	5	68
平成19年8月15日	48	SIG13(ACS19)	コンピューティングシステム	1270	25	302
平成19年9月15日	48	SIG14(TOD35)	データベースシステム	880	11	152
平成19年10月15日	48	SIG15(TOM18)	数理モデル化と応用	900	17	198
平成19年11月15日	48	SIG16(CVIM19)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1420	4	54
平成19年11月15日	48	SIG17(TBI03)	バイオ情報学	250	4	40
平成19年12月15日	48	SIG18(ACS20)	コンピューティングシステム	1280	8	107
平成19年12月15日	48	SIG19(TOM19)	数理モデル化と応用	900	14	154
平成19年12月15日	48	SIG20(TOD36)	データベースシステム	880	6	78
平成20年1月15日	49	SIG1(PRO35)	プログラミング	470	10	134
平成20年3月15日	49	SIG2(ACS21)	コンピューティングシステム	1290	11	159
平成20年3月15日	49	SIG3(PRO36)	プログラミング	470	4	59
平成20年3月15日	49	SIG4(TOM20)	数理モデル化と応用	900	14	156
平成20年3月15日	49	SIG5(TBI04)	バイオ情報学	220	6	64
平成20年3月15日	49	SIG6(CVIM20)	コンピュータビジョンとイメージメディア	1470	9	100
平成20年3月15日	49	SIG7(TOD37)	データベースシステム	900	5	71

4. その他出版（新刊）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
平成19年10月25日	IT Textシリーズ 自然言語処理	2,000	182
平成19年12月15日	IT Textシリーズ 人画像処理	2,000	258
平成19年12月25日	IT Textシリーズ Java基本プログラミング	2,000	234

いずれも、判型：A5、委託出版社名：CQ出版社

平成20年3月1日	組込みシステム基礎技術全集 組込みシステム概論	3,000	224
-----------	-------------------------	-------	-----

5. その他出版（重版）

いずれも、判型：A5、委託出版社名：オーム社

平成19年4月25日	IT textシリーズ 情報リテラシー 1版5刷	400	248
平成19年5月20日	IT textシリーズ 情報と職業 1版5刷	600	222
平成19年6月15日	IT textシリーズ 基礎Web技術 1版4刷	1,000	188
平成19年7月5日	IT textシリーズ（一般教育） 情報とコンピューティング 1版5刷	400	212
平成19年7月20日	IT textシリーズ オペレーティングシステム 1版8刷	700	240
平成19年7月20日	IT textシリーズ 音声認識システム 1版7刷	400	214
平成19年8月20日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション 1版6刷	400	240
平成19年9月5日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ 1版4刷	500	236
平成19年12月10日	IT textシリーズ オペレーティングシステム 1版9刷	1,500	240
平成20年2月10日	IT textシリーズ データベース 1版8刷	2,500	196
平成20年2月10日	IT textシリーズ ソフトウェア開発 1版7刷	1,200	224
平成20年2月10日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション 1版7刷	1,100	240
平成20年2月10日	IT textシリーズ（一般教育） 情報と社会 1版5刷	1,300	212
平成20年2月25日	IT textシリーズ（一般教育） 情報システム基礎 1版2刷	1,300	218
平成20年3月10日	IT textシリーズ 認知インタフェース 1版5刷	500	234
平成20年3月10日	IT textシリーズ 応用Web技術 1版2刷	400	210
平成20年3月10日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ 1版5刷	1,500	236
平成20年3月10日	IT textシリーズ コンパイラとバーチャルマシン 1版5刷	900	212
平成20年3月10日	IT textシリーズ 基礎Web技術 1版5刷	400	188
平成20年3月10日	IT textシリーズ（一般教育） 情報とコンピューティング 1版6刷	1,300	212
平成20年3月10日	IT textシリーズ アルゴリズム論 1版6刷	1,400	230
平成20年3月10日	IT textシリーズ プログラム仕様記述論 1版4刷	400	192
平成20年3月10日	IT textシリーズ データマイニングの基礎 1版2刷	600	286
平成20年3月10日	IT textシリーズ 情報と職業 1版6刷	700	222

付4．国際会議一覧

名称	開催年月	場所	参加数	内、 海外参加	共催団体
Asia and south Pacific Design Automation Conference 2007 (ASP-DAC2007)	平成19年1月23日～26日	パシフィコ横浜	716	237	IEEEほか
The 8th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2007)	平成19年3月21日～23日	アリゾナ	80	65	IEEE-CS ほか
International Workshop on Security (IWSEC2007)	平成19年10月29日～31日	奈良県公会堂	100	27	IEICE
2007 International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (USC2007)	平成19年11月26日～29日	秋葉原ダイビル	180	74	USN, UCN ほか
14th Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC2007)	平成19年12月5日～7日	名古屋ミッドランド スクエア	250	109	なし

付5.表彰等 *いずれも所属()内)は選定当時、掲載は順不同、敬称略

1.新名誉会員(2名) [第51回通常総会(平成20年5月)表彰][理事会(平成20年1月)]

- ・鶴保証城(IPA)
 - ・益田隆司(電通大)
-

2.功績賞・顕功賞 [第51回通常総会(平成20年5月)表彰][功績賞選定委員会(平成20年3月)]

(1)功績賞(3名)

- ・旭 寛治(日立TC)
- ・安西祐一郎(慶應義塾)
- ・白鳥則郎(東北大)

(2)顕功賞(該当無し)

3.新フェロー(7名) [第70回全国大会(平成20年3月)表彰][フェロー選定委員会(平成19年1月)]

- ・井上克郎(阪大) 「プログラム解析技術を用いたソフトウェア開発支援に関する研究」
 - ・今瀬 真(阪大) 「通信ネットワークに関するグラフ理論研究とIP-VPNシステムの実用化」
 - ・加藤直樹(京大) 「組合せ最適化アルゴリズムと計算幾何学の発展に対する貢献」
 - ・新谷虎松(名工大) 「知識情報処理技術に関する先端的研究ならびに後進の育成への貢献」
 - ・徳田英幸(慶大) 「オペレーティングシステムとユビキタスコンピューティングシステムの研究に関する貢献」
 - ・中森真理雄(東京農工大) 「情報専門教育モデルカリキュラムの策定と情報教育の普及・質的向上への貢献」
 - ・村上篤道(三菱電機) 「デジタル映像符号化・伝送・蓄積技術の開発に対する貢献」
-

4.論文賞(10件29名) [第51回通常総会(平成20年5月)表彰][論文賞選定委員会(平成20年3月)]

- ・産学連携に基づいたコードクローン可視化手法の改良と実装 肥後芳樹、吉田則裕、楠本真二、井上克郎(阪大)
 - ・RNA Pseudoknotted Structure Prediction Using Stochastic Multiple Context-Free Grammar Yuki Kato, Hiroyuki Seki, Tadao Kasami(Nara Institute of Science and Technology)
 - ・大量データストリームの類似探索手法 藤原靖宏、櫻井保志、山室雅司(NTT)
 - ・On the Properties of Evaluation Metrics for Finding One Highly Relevant Document Tetsuya Sakai(Newswatch, Inc. (This work was done when the author was at Toshiba.))
 - ・送信者に認証機能を付加したブロードキャスト暗号とその応用 金沢史明、岡本 健(筑波大)、猪俣敦夫(JST)、岡本栄司(筑波大)
 - ・片方向リンクの存在するアドホックセンサネットワークにおけるTDMAスロット割当て手法 神崎映光、原 隆浩、西尾章治郎(阪大)
 - ・感性語を媒介にした香りコミュニケーションモデル 坂内祐一(キヤノン/慶大)、石澤正行、重野 寛、岡田謙一(慶大)
 - ・Acquisition and Rectification of Shape Data Obtained by a Moving Range Sensor Atsuhiko Banno, Katsushi Ikeuchi(The Univ. of Tokyo)
 - ・並行プログラミング言語へのチャンネル使用法宣言の導入 須藤 崇、小林直樹(東北大)
 - ・Network-on-ChipにおけるFat H-Treeトポロジに関する研究 松谷宏紀(慶大)、鯉淵道紘(NII)、天野英晴(慶大)
-

5.喜安記念業績賞(3件14名、*:代表貢献者) [第51回通常総会(平成20年5月)表彰][喜安記念業績賞選定委員会(平成20年3月)]

- ・「素因数分解専用ハードウェアの開発とRSA暗号の安全性評価」 小暮 淳*、下山武司、伊豆哲也、鳥居直哉(富士通研)、苗木俊介(富士通)
- ・「携帯電話によるネットワーク型コーパス音声翻訳システムの構築」 中村 哲*、隅田英一郎、清水 徹、葦苒 豊、袋谷丈夫(ATR)
- ・「Webサービス技術の基盤確立と標準化ならびに普及への貢献」 丸山 宏*、羽田知史(IBM東京基礎研)、根山 亮(ウタゴエ)、中村祐一(IBM東京基礎研)

6. 長尾真記念特別賞 (3名)

[第51回通常総会 (平成20年5月) 表彰] [長尾真記念特別賞選定委員会 (平成20年3月)]

- ・松尾 豊 (東大) 「Webマイニングによる社会ネットワーク抽出に関する研究」
- ・門田暁人 (奈良先端大) 「ソフトウェア開発データに基づくプロジェクト管理の定量的支援」
- ・山口弘純 (阪大) 「分散協調通信システムの設計支援技術に関する研究」

7. 山下記念研究賞 (46名)

[第70回全国大会 (平成20年3月) 表彰] [各領域委員会 (平成19年7月)]

< コンピュータサイエンス領域 >

- ・N.M-gram: ハッシュ値付きN-gram法による転置インデックスの実現 [データベースシステム] 平林幹雄 (ミクシィ)
- ・プログラムソースコードのための品質測定と評価の枠組み [ソフトウェア工学] 鷺崎弘宣 (NII)
- ・依存情報を用いた命令グループ化による動的命令スケジューリング機構の電力削減手法 [計算機アーキテクチャ] 佐々木広 (東大)
- ・3次元IC向けFat TreeベースNetwork-on-Chips [計算機アーキテクチャ] 松谷宏紀 (慶大)
- ・オーバレイ構築ツールキットOverlay Weaver [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] 首藤一幸 (ウタゴエ)
- ・メモリアクセスおよびリソース共有を行うカスタム命令自動生成手法 [システムLSI設計技術] 瀬戸謙修 (武蔵工大)
- ・高速モードと低消費電力モードを有する2線式論理回路の設計手法 [システムLSI設計技術] 森本薫夫 (ルネサステクノロジ)
- ・新しいマルチレベル型反復解法: 陰的マルチグリッド法の概念 [ハイパフォーマンスコンピューティング] 岩下武史 (京大)
- ・ヘテロなOSの計算資源を活用するグリッドRPCの設計 [ハイパフォーマンスコンピューティング] 上村佳史 (筑波大)
- ・並行プログラミング言語へのチャンネル使用法宣言の導入 [プログラミング] 須藤 崇 (東北大)
- ・最小コスト木状被覆問題の2倍近似アルゴリズム [アルゴリズム] 藤戸敏弘 (豊橋技科大)
- ・特徴ベクトルに基づく木状の化学分子の列挙アルゴリズム [数理モデル化と問題解決] 藤原大樹 (三菱電機)
- ・携帯電話組み込み用“モバイルFeliCa IC チップ”開発におけるモデル検証手法の導入と課題 [組み込みシステム] 中津川泰正 (ソニー)

< 情報環境領域 >

- ・教育環境における仮想大規模ストレージのためのツールキット [マルチメディア通信と分散処理] 上原 稔 (東洋大)
- ・A Distributed Worm Detection Method based on ACTM [マルチメディア通信と分散処理] 重野 寛 (慶大)
- ・没入型三次元風覚ディスプレイの開発と評価 [ヒューマンコンピュータインタラクション] 小坂崇之 (金沢工高専)
- ・インタラクティブだまし絵表現の提案と実装 [グラフィクスとCAD] 藤木 淳 (九大)
- ・GPUを用いたリアルタイム剛体シミュレーション [グラフィクスとCAD] 原田隆宏 (東大)
- ・類語関係抽出タスクにおけるコーパス規模拡大の影響 [情報学基礎] 相澤彰子 (NII)
- ・ガウス性信号の高効率Golomb符号化方式 [オーディオビジュアル複合情報処理] 高村誠之 (NTT)
- ・Webサイトからの企業名抽出によるフィッシング対策手法の提案 [グループウェアとネットワークサービス] 柴田賢介 (NTT)
- ・反響特性分析に基づいたBlog記事マイニング [グループウェアとネットワークサービス] 宮田章裕 (NTT)
- ・ネットワークエミュレータによる大規模DHT性能評価手法の提案 [分散システム/インターネット運用技術] 加藤大志 (NEC)
- ・Wikipediaマイニングによる信頼性情報を考慮した記事関係の抽出 [デジタルドキュメント] 中山浩太郎 (阪大)
- ・Particle Filterを用いた複数無線LAN基地局の位置推定手法 [モバイルコンピューティングとユビキタス通信] 鈴木啓之 (名大)
- ・片方向リンクを考慮したアドホックネットワークルーティングプロトコルの提案と検討 [モバイルコンピューティングとユビキタス通信] 福井裕介 (静岡大)
- ・ゼロ知識証明を用いた非対称指紋認証 [コンピュータセキュリティ] 永井 慧 (東海大)
- ・Javaを利用した携帯電話上でのTateペアリングの高速実装 [コンピュータセキュリティ] 川原祐人 (はこだて未来大)
- ・道路交通流の円滑化に向けた情報共有に基づく協調カーナビの提案 [高度交通システム] 山下倫央 (産総研)
- ・Javaプログラムへの動的な測定点設置方式の評価 [システム評価] 堀川 隆 (NEC)
- ・Consensual Disclosureを実現する実用的な追跡不能アクセス制御方式 [ユビキタスコンピューティングシステム] 申吉 浩 (カーネギーメロン大)

< フロンティア領域 >

- ・符号化問題として解く日本語係り受け解析 [自然言語処理] 田村晃裕 (NEC)
- ・NAISTテキストコーパス: 述語項構造と共参照関係のアノテーション [自然言語処理] 飯田 龍 (奈良先端大)
- ・「ロボット・ミーム」の構想 - 人 ロボット間の相互適応による文化の学習・伝達・創出の実現 - [知能と複雑系] 駒込大輔 (はこだて未来大)
- ・特徴点の局所的配置に基づくリアルタイム文書画像検索とその拡張現実への応用 [コンピュータビジョンとイメージメディア] 中居友弘 (大阪府立大)

- ・近接点光源は未較正照度差ステレオにおける形状復元の不定性を解決するか? [コンピュータビジョンとイメージメディア]
岡部孝弘 (東大)
- ・デジタル教科書作成ツールの開発と市販教科書への応用 [コンピュータと教育]
原久太郎 (地域学習センター)
- ・3軸自律制御ロボットを用いた制御の学習 [コンピュータと教育]
西ヶ谷浩史 (静岡大)
- ・文字オントロジーに基づく文字処理について [人文科学とコンピュータ]
守岡知彦 (京大)
- ・オブジェクト指向設計によるチベット文字認識研究の発展 [人文科学とコンピュータ]
小島正美 (東北工大)
- ・音楽音響信号と歌詞の時間的対応付け手法: 歌声の分離と母音のViterbiアラインメント [音楽情報科学]
藤原弘将 (産総研)
- ・限定されたドメインにおける質問応答機能を備えた文書検索・提示型対話システム [音声言語情報処理]
翠 輝久 (京大)
- ・AdaBoostを用いたシステムへの問い合わせと雑談の判別 [音声言語情報処理]
佐古 淳 (神戸大)
- ・自動実行型ADRサービスにおける参加者の費用負担方法のあり方に関する一考察 電子的自力救済型個人データ保護制度を中心に
[電子化知的財産・社会基盤]
橋本誠志 (徳島文理大)
- ・大貧民における手の構造 [ゲーム情報学]
西野順二 (電通大)
- ・生化学反応系のためのベイズ的システム同定法 [バイオ情報学]
吉本潤一郎 (OIST)

8. 大会優秀賞・大会奨励賞 [第70回全国大会 (平成20年3月) 表彰] [第69回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会]

(1) 大会優秀賞 (10名)

- ・今井義治 (三重大)
- ・中口孝雄 (NTT-AT)
- ・安田知弘 (日立)
- ・上田祐一郎 (同志社大)
- ・古川文人 (帝京大)
- ・吉田慶章 (東海大)
- ・大津金光 (宇都宮大)
- ・水野高宏 (NTTデータ)
- ・嶋田明奈 (同志社大)
- ・元濱 努 (三菱電機)

(2) 大会奨励賞 (7名)

- ・境 智史 (京大)
- ・古川忠延 (東大)
- ・十川 基 (東京電機大)
- ・吉田雅敏 (京大)
- ・秦 愛 (名工大)
- ・山本徹也 (宇宙航空研究開発機構)
- ・辻田 眸 (お茶の水女子大)

9. 教育賞 [教育委員会]

(1) 優秀教育賞 (該当無し)

(2) 優秀教材賞 (該当無し)

10. 学会活動貢献賞 / 感謝状 [第70回全国大会 (平成20年3月) 表彰] [総務財務運営委員会 (平成20年1月)]

(1) 学会活動貢献賞: 「学会誌編集への貢献」 (2名)

- ・片山 博 (NEC)
- ・山下博之 (JST)

(2) 学会活動貢献賞: 「論文誌の査読貢献」 (3名)

- ・阿草清滋 (名古屋大)
- ・岡田謙一 (慶大)
- ・重野 寛 (慶大)

(3) 感謝状: 「学会会員管理システム開発への貢献」 (3名)

- ・加納 健 (NEC)
- ・鳥居 悟 (富士通研)
- ・滝田勝久 (三菱電機インフォメーションシステムズ)

11. 若手奨励賞 (3名) [第7回日本情報オリンピック表彰式 (平成20年3月) 表彰] [若手奨励賞選定委員会 (平成20年3月)]

- ・副島 真 (筑波大附属駒場高校、日本情報オリンピック金賞受賞者)
- ・松元叡一 (筑波大附属駒場高校、日本情報オリンピック銀賞受賞者)
- ・吉田周平 (広島大附属福山高校、日本情報オリンピック銅賞受賞者)

12. 情報規格調査会関連の表彰

(1) 標準化功績賞 (3名)

- ・植村俊亮 (奈良産業大)
- ・佐藤哲司 (筑波大)

[情報規格調査会総会 (平成19年7月) 表彰] [情報規格調査会]

- ・田中邦麿 (帝京平成大)

(2) 標準化貢献賞 (11名)

- ・江崎和博 (荏原製作所)
- ・竇木和夫 (日立)
- ・山崎康一 (中電シティーアイ)
- ・岡崎毅久 (日本IBM)
- ・廣瀬直樹 (日本IBM)
- ・山崎信行 (慶大)

[情報規格調査会総会 (平成19年7月) 表彰] [情報規格調査会]

- ・鈴木輝彦 (ソニー)
- ・福原隆浩 (ソニー)
- ・山平耕作 (日立)
- ・高田秀之 (日立)
- ・森 雅博 (富士通研)

(3) 国際規格開発賞 (14名: 17件)

- ・内田 薫 (NEC)
- ・銀林 純 (富士通)
- ・江崎和博 (荏原製作所)
- ・塩谷和範 (SRA先端技術研)

[情報規格調査会 (技術委員会) 表彰] [情報規格調査会]

- ・岡部雅夫 (東京電力)
- ・篠木裕二 (日立)
- ・梶原清彦 (NTT東日本)
- ・新崎 卓 (富士通研)

- ・友永哲夫 (エナジーリサーチ) ・中村敏男 (沖電気) ・宮地充子 (北陸先端大) ・森 靖英 (日立)
 - ・森田勝弘 (県立広島大) ・山田昭雄 (NEC)
- (4) 工業標準化事業功労者表彰 経済産業省主催 [工業標準化表彰式 (平成19年10月) 表彰] [経済産業省]
- ・工業標準化事業表彰経済産業大臣表彰: 石崎 俊 (慶大), NTT
 - ・国際標準化貢献者表彰 (産業技術環境局長表彰): 木村敏子 (ITSCJ), 込山俊博 (NEC)
 - ・国際標準化奨励者表彰 (産業技術環境局長表彰): 宮地充子 (北陸先端大), 山崎信行 (慶大)

13. FIT関連の各賞 [FIT2008 (平成19年9月) 表彰] [FIT推進委員会]

- (1) 船井業績賞 (1名) 船井情報科学振興財団主催
- ・村井 純 (慶大)
- (2) 船井ベストペーパー賞 (3件) 船井情報科学振興財団主催
- ・自動メモ化プロセッサの消費エネルギー評価
島崎裕介 (名工大)、池内康樹 (ACCESS)、津邑公暁 (名工大)、中島 浩 (京大)、松尾啓志 (名工大)、中島康彦 (奈良先端大)
 - ・Relative Innovator の発見によるパーソナライズ手法の提案 川前徳章、山田武士、上田修功 (NTT)
 - ・ノイズのある環境下でオンライン学習が可能な自己増殖型ニューラルネットワークを用いた連想記憶モデル
須藤明人、佐藤彰洋、長谷川修 (東工大)
- (3) FIT論文賞 (7件)
- ・Analysis of an Edge Coloring Algorithm Using Chernoff Bounds 謝 旭珍、柳浦睦憲、小野孝男、平田富夫 (名大)
 - ・大規模自律エージェントシステムにおける契約ネットプロトコルの効率特性
菅原俊治 (早大)、福田健介 (NII)、廣津登志夫 (豊橋技科大)、栗原 聡 (阪大)
 - ・低品質文字列を認識するための文字間空隙特徴の利用 石田皓之、高橋友和、井手一郎、村瀬 洋 (名大)
 - ・“No news is good news” 規準を利用した行動教示の学習 田中一晶、左 祥、嵯峨野泰明、岡 夏樹 (京都工繊大)
 - ・OS 資源ビューの仮想化を用いた分散システムテストベッド 西川賀樹 (東大)、大山恵弘 (電通大)、米澤明憲 (東大)
 - ・P2P ネットワークのための分散ハッシュ型認証手法
武田敦志 (東北文化学園大)、北形 元 (東北大)、松島 悠 (新日鉄ソリューションズ)、木下哲男、白鳥則郎 (東北大)
 - ・視覚障害者向け案内システムの実証的評価 深澤紀子、水上直樹、松原 広、土屋隆司 (鉄道総研)
- (4) FITヤングリサーチ賞 (10名)
- ・河合吉彦 (NHK) ・齊藤剛史 (鳥取大) ・志水信哉 (NTT) ・鈴木貴史 (名工大)
 - ・高橋正樹 (NHK) ・立岩佑一郎 (名大) ・中島奈緒 (NHK) ・西村竜一 (和歌山大)
 - ・三玉政喜 (横浜国大) ・柳原 正 (KDDI研)

14. IPSJ Digital Courier船井若手奨励賞 (17名) 船井情報科学振興財団主催 [財団褒賞式 (平成19年4月)] [学生会員育成委員会]

- ・上田真太郎 (慶大) ・西尾泰和 (奈良先端大) ・上原 宏 (筑波大) ・初田直也 (東大)
- ・本村真一 (鳥取大) ・三橋一郎 (三重大) ・平石 拓 (京大) ・HUNG LUONG DINH (東大)
- ・陳士爽清 (群馬大) ・吉川祐樹 (奈良先端大) ・梁 文新 (東工大) ・楊 鵬 (東大)
- ・野原康伸 (九大) ・加藤有己 (奈良先端大) ・TA QUOC VIET (電通大) ・RAHMAN SK.MD. MIZANUR (筑波大)
- ・蔡 菁 (阪大)